

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows 98 インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの削除と追加

パソコンのメンテナンスと管理

他のOSを利用するには

トラブルを解決するには

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



『はじめにお読みください』

このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。

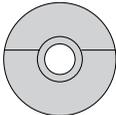
- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介



『活用ガイド 再セットアップ編』

このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。

- ・再セットアップの方法



『マニュアル CD-ROM』

『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

『活用ガイド ハードウェア編』

このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・アプリケーションの利用方法
- ・他のOSを利用する場合の設定
- ・トラブル解決Q&A

「印刷マニュアル」を選択された場合は、上記のほか、『活用ガイド ハードウェア編』と『活用ガイド ソフトウェア編』が紙のマニュアルとして添付されます。



はじめに

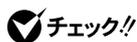
このマニュアルは、パソコンにインストールされているアプリケーションや添付されているアプリケーションを、削除/追加する方法について説明しています。

トラブルが起こったときは、まず、巻末の「索引」にある「トラブル解決 Q&A内容一覧」を見て、自分のパソコンで起きたトラブルを探してください。トラブルの種類別に分類して、問題点を見つけやすくしています。トラブルの原因や解決方法をよく読んで対処してください。

2000年 5月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性あります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことで
CD-R/RWモデル	CD-R/RWDドライブを内蔵または添付しているモデルのことで
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことで
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーションやAtemIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことで
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことで
Office 2000モデル	Office 2000 PersonalまたはOffice 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことで
Office 2000 Personalモデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルです。
Office 2000 Professionalモデル	Office 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことで
一太郎モデル	一太郎10・花子10パックがあらかじめインストールされているモデルのことで
暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことで
内蔵指紋センサモデル	内蔵指紋センサを内蔵しているモデルのことで
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」	「スタート」ボタンをクリックし、現われたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現われたサブメニューから「アクセサリ」を選択する操作を指します。

「コントロールパネル」を開く

「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」をクリックする操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 5.01
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft Power Point® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、 Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic)
一太郎10パック	一太郎10・花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
RSA SecurPC	RSA SecurPC™ Version 1.1.3J
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.0J
スーパーディスク	SuperDisk™
VirusScan	VirusScan Ver4.0.3a

このマニュアルで使用している画面

- ・本書に記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク・ロゴは参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデルには、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが内蔵または添付されています。

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えます。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外における保守・修理対応は、海外保証サービス「NEC UltraCare®」対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/>
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください。)
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、Windows Media、PowerPoint、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」、「Voice一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「Voice一太郎10・花子10パック」「一太郎10・花子10パック」「Shuriken」「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎10・花子10パック」「一太郎10・花子10パック」にかかる著作権その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

pcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国RSA Security社の商標または登録商標です。

RSA SecurPCは米国RSA Security社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

IntelおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジーを使用しています。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。(ただし、海外保証サービス NEC UltraCare® 対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを行います。)本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

添付アプリケーションについて 13

添付アプリケーションの紹介 14

本機に添付のアプリケーション 14

アプリケーションを使う前に 16

Office 2000 Personal 16

Office 2000 Professional 17

一太郎10パック 18

インターネットエクスプローラ 18

Intellisync 18

NEC Soft MPEG 1.0 24

プレーヤ-NX 24

Easy CD Creator (CD-R/RWモデルのみ) 25

DirectCD (CD-R/RWモデルのみ) 26

Acrobat Reader 26

CyberAccess 26

VirusScan 33

英語モードフォント 34

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) ... 35

pcAnywhere 9.0 EX 37

RSA SecurPC 37

Masty Data Backup 38

インターネット設定切替ツール 38

ワンタッチスタートボタンの設定(VA70J、VA65Jを除く) 39

Virtual CD ㄨ VA50J/BHのみ) 39

自動メール受信ユーティリティ(VA70J、VA65Jを除く) 39

添付アプリケーションの追加と削除 45

追加の前に 46

追加するときの注意 46

追加の準備 46

追加のしかた 48

Office 2000 Personal 48

Office 2000 Professional 48

一太郎10パック 49

Intellisync 49

NEC Soft MPEG 1.0 50

プレーヤ-NX	51
DirectCD/Easy CD Creator(CD-R/RWモデルのみ)	52
Acrobat Reader	54
CyberAccess.....	54
VirusScan	57
英語モードフォント	59
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)	59
pcAnywhere 9.0 EX.....	60
RSA SecurPC.....	61
Masty Data Backup	62
インターネット設定切替ツール	62
Virtual CD ㄨ VA50J/BHのみ).....	63
削除の前に	64
削除するときの注意	64
削除の準備	64
アイコン削除の準備	65
削除のしかた	66
Office 2000 Personal	66
Office 2000 Professional	67
一太郎10パック	68
Intellisync.....	70
NEC Soft MPEG 1.0	70
プレーヤ-NX	71
DirectCD/Easy CD Creator(CD-R/RWモデルのみ)	71
Acrobat Reader	72
CyberAccess.....	73
VirusScan	73
英語モードフォント	74
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) ...	74
pcAnywhere 9.0 EX.....	75
RSA SecurPC.....	76
Masty Data Backup	76
インターネット設定切替ツール	77
Virtual CD ㄨ VA50J/BHのみ).....	77

PART

3

パソコンのメンテナンスと管理 79

パソコンをウイルスから守る 80

 コンピュータウイルスとは 80

 VirusScanを使ってウイルスを駆除する 82

データのバックアップをとる 84

 バックアップとは 84

 バックアップが必要なデータ 84

 バックアップをとるタイミング 85

 バックアップ先について 85

 バックアップの手順 86

ハードディスクのメンテナンス 87

 ハードディスクのメンテナンスをする 87

重要なファイルの管理 89

 システムファイルをチェックする 89

PART

4

他のOSを利用する 91

Windows NT 4.0を使う 92

 セットアップの準備 92

 Windows NT 4.0を使うときの注意 95

 Windows NT 4.0のセットアップ 96

 周辺機器の設定 101

Windows 2000 Professionalを使う 126

 Windows 2000 Professionalをセットアップする前に 126

 1. パソコン本体の準備をする 127

 2. Windows 2000 Professionalをセットアップする 127

 3. 周辺機器の設定を行う 130

PART

5

トラブル解決 Q&A 159

はじめて電源を入れたら 160

電源を入れたが 163

バッテリーを使っていたら 173

電源を切ろうとしたが 175

画面がおかしい 177

別売のディスプレイを使っていたら	179
NXパッドを操作しても	183
文字を入力しようとしたら	185
ファイルを保存しようとしたら	189
インターネット / パソコン通信しようとしたら	190
ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら	202
赤外線通信しようとしたら	204
光デジタル出力機能を使っていたら (VA60J/WX、VA50J/WS、 VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hを除く)	206
印刷しようとしたら	207
フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら	210
ハードディスクを使っていたら	214
CD-ROM / CD-R / CD-RWを使っていたら	219
周辺機器を取り付けようとしたら	225
アプリケーションを使っていたら	230
スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら	238
休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら	239
スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら	242
その他	243

PART

6

付録	249
Windows 98でMS-DOSモードを利用する	250
MS-DOSモードを利用する	250
MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブを利用する	251
アフターケアについて	255
索引	259
トラブル解決 Q&A内容一覧	260
総索引	265
トラブルチェックシート	267

P A R T

1

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。

添付アプリケーションの紹介

本機に添付のアプリケーション

次のアプリケーションは、ご購入時にハードディスクにインストールされています。

アプリケーション名	概要
Word 2000 ¹	ワープロを使う
Excel 2000 ¹	表計算をする
Outlook 2000 ¹	メール、スケジュール、文書などを管理する
PowerPoint 2000 ²	プレゼンテーション用の資料を作成する
Access 2000 ²	データベースを作成し、管理する
Publisher 2000 ²	文書や画像をレイアウトする
顧客データマネージャ ²	顧客の情報を効率的に蓄積する
Business Planner ²	キャリアプランを立てる
一太郎 ^{10 3}	ワープロを使う
三四郎 ^{9 3}	表計算をする
花子 ^{10 3}	図形を作成する
Sasuke ³	メール、スケジュール、文書などを管理する
Shuriken ³	メールでスケジュールを通知する
インターネットエクスプローラ	インターネットの情報を管理する
Outlook Express	メールを送受信する
自動メール受信ユーティリティ	メールの着信を、曜日や時刻を指定して定期的に確認する
ワンタッチスタートボタンの設定 ⁴	ワンタッチスタートボタンの設定、変更をする

1: Office 2000モデル

2: Office 2000 Professionalモデル

3: 一太郎モデル

4: VA70J、VA65Jを除く

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。
インストールの方法については、PART2の「追加のしかた」をご覧ください。

アプリケーション名	概要
Intellisync	赤外線 / シリアルケーブル接続でファイルをシンク同期させる
NEC Soft MPEG 1.0	MPEG ファイルを再生する
プレーヤ-NX	オーディオCD、ビデオCDなどを再生する
Acrobat Reader	PDFファイルを表示する
CyberAccess	操作可能なアプリケーションやツールを、ユーザのレベルに合わせて制限したり、OSが必要とするファイルを保護する
VirusScan	コンピュータウイルスを検出して除去する
英語モードフォント	海外製アプリケーションの文字表示を正しくする
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)	パソコンに接続されているハードウェアやインストールされているソフトウェアの情報を管理する
RSA SecurPC	ファイルのプライバシーを守る
pcAnywhere 9.0 EX	ネットワークに接続された遠隔地のパソコンを操作する
Masty Data Backup	様々な媒体のバックアップを行う
インターネット設定切替ツール	通信環境を切り替える
Virtual CD 2 ¹	ハードディスクに仮想CDを作成する

1:VA50J/BHのみ

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。
インストールの方法については、PART2の「追加のしかた」をご覧ください。

アプリケーション名	概要
Easy CD Creator ¹	大量のデータをCD-RやCD-RWに書き込む
DirectCD ¹	

1:CD-R/RWモデルのみ



アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

Office 2000 Personal

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動したときに行う設定と、Outlook 2000を初めて起動したときに行う設定について説明します。

初回起動時の設定

ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。
必要な情報を入力してください。

- ・「ユーザー名」には、Windows 98のユーザー情報が表示されています。
- ・CDキーは「Office 2000 Personal 添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

Outlook 2000の設定

Outlook 2000を初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

- 1** 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。
- 2** 「企業 / ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動したときに行う設定と、Outlook 2000を初めて起動したときに行う設定について説明します。

初回起動時の設定

Outlook 2000の設定

Outlook 2000を使用する場合は、Outlook 2000をはじめて起動したときに、次の手順で設定が必要です。

- 1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。
- 2 「企業 / ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動する場合、または「Outlook 2000スタートアップ」の設定後にはじめてOutlook 2000を起動する場合、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。

必要な情報を入力してください。

- ・「ユーザー名」には、Windows 98のユーザー情報が表示されています。
- ・CDキーは「Office 2000 Professional 添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

ユーザ情報の登録後、Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 ProfessionalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

一太郎10パック

一太郎10パックを使う前に

一太郎10パックを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・本機にセットアップされている「一太郎10パック」は、「標準」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。ご購入時の状態で使用できる機能については、「一太郎10パックの添付マニュアル「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。
- ・「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎10・花子10パック」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「一太郎10パックの添付マニュアル『一太郎10・花子10パック』の「一太郎10・花子10パックの機能を追加する」をご覧ください。

インターネットエクスプローラ

インターネットエクスプローラを使う前に

ご購入時にはインターネットエクスプローラ5.01がインストールされています。

Intellisync

設定を行う前に

Intellisyncの設定を行う前に、次の点をご確認ください。

- ・Intellisyncで赤外線通信機能を使う場合には、赤外線の接続設定を行う前に、必ず『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行う前に」をご覧ください。
- ・通信相手のパソコンにIntellisyncがインストールされていない場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、Intellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Intellisync（ p.49 ）をご覧ください。

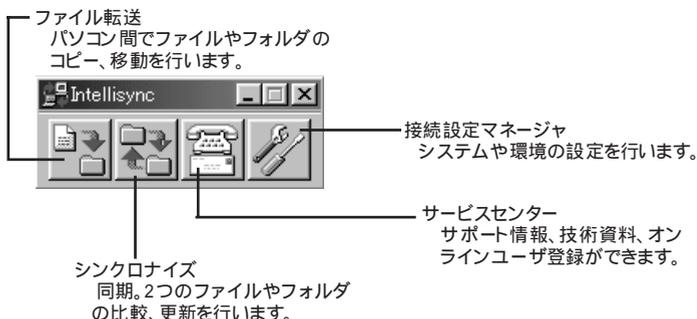
- ・通信相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に、本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisyncソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。ただし、通信相手のパソコンでのIntellisyncの動作を保証するものではありません。
- ・Intellisyncに添付のユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Readerが必要です。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader」(p.54)をご覧ください。

Intellisyncの設定

Intellisyncの設定は、Intellisyncランチャーを使って行います。

Intellisyncランチャーの起動

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」 「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする
- 2 「はじめに-Intellisync」で「OK」ボタンをクリックする
「Intellisyncランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定
パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 Intellisyncランチャーを起動する
- 2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

■ 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

- 3 「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 接続に使用するデバイスのアイコンの左側の田をクリックし、表示されたデバイス名をクリックする
デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線デバイス」に田が表示されていないときは、「接続設定」の「赤外線 (IR) 接続設定」をご覧ください。赤外線の設定を行ってください。
- 5 「プロパティ」をクリックする
- 6 「プロパティ」画面で「接続可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

・赤外線 (IR) 接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート (IRポート) が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

- 3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 「赤外線デバイス」を右クリックする
- 5 「IRウィザード」をクリックする
- 6 現在のデバイスが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 7 デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする
本機に内蔵の赤外線デバイスを使うときは、リストから次のデバイスを選んでください。
VA70J、VA65Jの場合
「NEC FIR port model 03」
上記以外のモデルの場合
「NEC FIR port model 04」
- 8 「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「Ir LPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
- 11 「接続設定マネージャ」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 12 再起動をうながすメッセージが表示された場合は、本機を再起動する

・シリアルケーブル接続設定

■ VA50J/BHの場合は、別売のUSBポートバーを接続しておく必要があります。

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

- 1** COMポート(シリアルポート)に別売のシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 3** シリアルケーブルの左側の田をクリックする
- 4** COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする
- 5** 「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする
- 6** 「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの左側のをクリックする
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

NEC Soft MPEG 1.0

NEC Soft MPEG 1.0を使う前に

NEC Soft MPEG 1.0を使う前に、次の点をご確認ください。

- ・ビデオのみのデータや、ビデオCDの静止画を含むデータでは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置とが必ずしも一致しません。
- ・画質優先モードで再生しているときに画像サイズを変更すると、再生が遅くなる場合があります。
- ・プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると、再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも、同様に停止します。

プレーヤ-NX

プレーヤ-NXで利用できるCD

プレーヤ-NXでは、次のメディアを再生できます。

- ・音楽(オーディオ)CD
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

プレーヤ-NXを使う前に

プレーヤ-NXを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生する場合は、NEC Soft MPEG 1.0が必要です。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているときに、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをNXパッドなどのポインティングデバイスでドラッグして、表示サイズを変更してください。

使用上の注意

「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

Easy CD Creator(CD-R/RWモデルのみ)

Easy CD Creatorは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリケーションです。使い方については、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」をご覧ください。

Easy CD Creatorで書き込んだCD-RWは、マルチリード対応のCD-ROMドライブで読み出すことができます。

DirectCD(CD-R/RWモデルのみ)

DirectCDを使うと、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚で、CD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができます。簡単にデータを保存することができますので、データのバックアップなどに適しています。使い方については『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」をご覧ください。

Acrobat Reader

Acrobat Readerの機能

PDF形式のファイルを表示したり印刷することができます。

CyberAccess

CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるので複数のモードを使い分けることができます。

モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

モード	機能
エキスパートモード	CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
アドバンスモード	コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
ベーシックモード	システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
セキュリティモード	CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されます。
新規作成モード	CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セットアップを行うことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行った場合は、このモードを利用することはできません。セットアップについて詳しくは、PART 2の「追加のしかた」の「CyberAccess (p.54)」をご覧ください。

新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。

チェック!! ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。

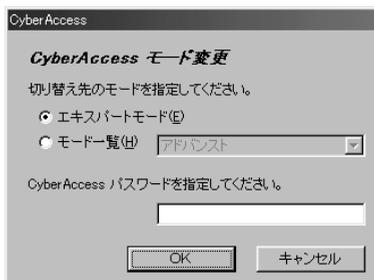


- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「利用環境
の設定」をクリックする
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「新規作成」ボタンをクリックする
- 6 「モード」欄に新規作成するモード名を入力する
モードにパスワードを設定する場合は、「モードへのアクセスをパスワード
で確認する」をチェックし、パスワードを入力します。
- 7 「制限」タブをクリックし、制限したい項目をチェックする
- 8 「単純化」タブをクリックし、システムの動作を単純化したい項目
をチェックする
- 9 「プログラム」タブをクリックする
- 10 「下記のプログラムのみ使用可能」をチェックし、「追加」ボタンを
押して利用を許可するプログラムを登録する
プログラムの利用制限を行わない場合は、チェックする必要はありません。
- 11 「OK」ボタンをクリックする

モードの編集

作成したモードを編集します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」をクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。
- 6 「新規モードの作成 (p.27)の手順6～10と同様に、各項目を変更する
- 7 「OK」ボタンをクリックする

モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
- 2 「モード一覧」をクリックする
- 3 をクリックし、切り替えるモードをクリックする
- 4 「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

CyberWarner-NXの機能

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようとする警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。

 **チェック!!** CyberWarner-NXで保護されているファイルを削除しようすると、ごみ箱の中身は空なのに、中身があるようにアイコン表示されてしまう場合があります。このような場合は、次の手順で表示を正しく直してください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- 3 「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** CyberWarner-NXの監視対象となるのはファイルのみですが、監視対象となるファイルが格納されているフォルダの削除やフォルダ名の変更は行わないでください。ファイルの監視を行うことができなくなります。

CyberWarner -NXを常駐させる

- 1 「コントロールパネル」を開き「CyberWarner -NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「CyberWarner -NX」を起動時に常駐させるには、「スタートアップ」タブの「起動時にCyberWarner -NXを実行する」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックしてください。

CyberWarner -NXの常駐を終了する

- 1 インジケータ領域 (タスクトレイ) に表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする
- 3 「CyberWarner -NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

ログファイルについて

- ・ CyberWarner -NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner -NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner -NX LogViewerを使います。

 **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner -NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

- ・ ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルの操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

・ ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

CriticalFile

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧元の状態に戻る されます。

¥command.com	¥windows¥system¥iosubsys¥*.mdp
¥io.sys	¥windows¥system¥iosubsys¥*.pdr
¥himem.sys	¥windows¥rundll.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥progman.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥control.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.*	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥command.com	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥himem.sys	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥system¥sysedit.exe	

Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥windows¥command¥*.exe
¥windows¥command¥*.com
¥windows¥command¥*.bin
¥windows¥command¥*.ini
¥windows¥command¥*.sys
¥windows¥system¥*.dll
¥windows¥system¥*.vxd

Special

次のファイル进行操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini
¥windows¥system.ini

エマージェンシーディスクの作り方

ウイルスに感染してパソコンが起動できなくなったときに、エマージェンシーディスクを使って起動することができます。エマージェンシーディスクは、次の手順で作成します。

用意するもの

エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

エマージェンシーディスクの作成

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする
「McAfee VirusScan セントラル」が起動します。

2 「ツール」 「エマージェンシーディスク」をクリックする

以降は、画面に表示されるメッセージに従って、エマージェンシーディスクを作成します。

詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

VShieldを有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウイルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

チェック!! VShieldの機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「McAfee VirusScan」 「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする

2 「VirusScanセントラル」が表示されたら、「VShield」をクリックする

3 「システムスキャンプロパティ」が表示されたら、「システムスキャンを有効」、「システムスキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」のチェックボックスにチェックを入れる

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「今すぐ読み込みを行いますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

これでVShieldの設定は完了です。次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

チェック! VShieldが常駐している状態では、VShieldが常にファイルへのアクセスを監視するため、アプリケーションの動作が多少遅くなります。VShieldの常駐を解除する方法については、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

「VShield」の設定の他に、「E-mailスキャン」、「ダウンロードスキャン」、「インターネットフィルター」の設定ができます。詳しくは、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

英語モードフォント

英語モードフォントを使う前に

英語モードフォントを使う前に、次の点についてご確認ください。

- 日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。
- また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「ウ」「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。
- 英語モードフォント、日本語モードフォントでのそれぞれの表示状態は、次の表の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」「ウ」「®」「ヨ」 「\」「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ウ」「©」「ヨ」「®」 「¥」「\」

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) を使う前に

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) を使う前に、次の点をご確認ください。

- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) は、管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。
- 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) は、起動に3分程度かかります。各種機能「このコンピュータを管理する」、「DMITool互換」などを使用する場合は、OS起動後しばらく待ってからこれらの機能をご使用ください。Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) を削除する場合も、OS起動後しばらく待ってから行ってください。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) の機能

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) は、次の機能により構成されています。

- Webブラウザによる情報表示
- システムビューワによる情報表示

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプ、ユーザズガイド、リリースノートおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

NEC拡張機能とは

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0に対して、NEC独自に拡張した機能です。

拡張した機能には、次のようなものがあります。

- *1 標準状態でインストールされます。
- *2 標準状態でインストールされません。
- *3 「DMIT00L互換画面」を選択すると、自動的にインストールされます。インストールしたくない場合は、「DMIT00L互換画面」のチェックボックスのチェックを外してください。

インストールする機能を追加 / 削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで「変更」ボタンをクリックしてください。

DMIT00L互換画面 *1

DMIT00L互換のユーザインターフェイス(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

USB接続デバイス一覧 *1 *3

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

モデム一覧 *1 *3

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

プリンター一覧 / プリント監視 *1 *3

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

拡張資産管理 *1 *3

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0の資産管理機能に、リース情報 / 棚卸し管理を追加し、リース / 棚卸し管理を可能にします。

H/W変更監視 *2

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

TOOL連携 *2

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツールなどの起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。

連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extension!リリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

SMBIOS情報 *2

SMBIOS情報を管理者などの他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

pcAnywhere 9.0 EX

pcAnywhere 9.0 EXを使う前に

pcAnywhere 9.0 EXを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・本機に添付されているpcAnywhere 9.0 EXを使って、他のパソコンを操作することはできません。
- ・接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMIT00L Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EXコンプリート版付)」または「pcAnywhere (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMIT00L Ver8.1 (pcAnywhere™ 9.0 EXコンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

RSA SecurPC

RSA SecurPCを使う前に

RSA SecurPCを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・RSA SecurPCには、次のような特徴があります。
 - RC4という暗号方式のアルゴリズムの方式を使用しています。
 - マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
 - 共有パスワードでファイルを暗号化し、ファイルを共有することができます。また、RSA SecurPCを持っていないユーザとファイルを共有することもできます。
- ・操作方法については、添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っている次のファイルをご覧ください。
 - ¥SecurPC¥SecurPC.pdf
- ・¥SecurPC¥SecurPC.pdfをご覧になるにはAcrobat Readerが必要です。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader (p.54)」をご覧ください。

- ・ ¥SecurPC¥SecurPC.pdf、オンラインヘルプ、バージョン情報などに記載されている「Windows 95」は、「Windows 98」と読み替えてください。

Masty Data Backup

Masty Data Backupの機能

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような機能があります。

- ・ OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- ・ 日付/曜日/時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- ・ データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・ 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・ 世代管理ができます。
- ・ S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールの機能

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」の「インターネットへの通信環境を切り替える」をご覧ください。

ワンタッチスタートボタンの設定(VA70J、VA65Jを除く)

「ワンタッチスタートボタン」の機能

電源が入っている状態のときに、ワンタッチスタートボタンを押すだけで、あらかじめ設定したアプリケーションを起動することができます。また、電源を切っている状態やスタンバイ状態のときにワンタッチスタートボタンを押しても、同様にアプリケーションを起動することができます。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

Virtual CD 2(VA50J/BHのみ)

Virtual CD 2の機能

Virtual CD 2は、パソコンに仮想CD-ROMドライブを追加して、そのドライブで使用できる仮想CDを作成し、利用するためのアプリケーションです。作成した仮想CD-ROMドライブは、Windows上で通常のCD-ROMドライブを扱うような感覚で利用できます。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROM・CD-R/RWドライブ」の「Virtual CD 2を使う」をご覧ください。

自動メール受信ユーティリティ(VA70J、VA65Jを除く)

メールの受信方法を自動受信に設定すると、パソコンから離れて何か別なことを行っている間に自動的にメールを受信することができます。

自動受信の設定を行う

ここでは、おもにOutlook Expressを使用してメールを自動受信するための手順を説明します。その他のメールソフトを使用したい場合は、メールソフトが次の機能に対応しているか確認し、設定をしておいてください。

- ・ 自動受信
- ・ 接続設定
- ・ 受信後に回線切断



チェック!!

- Outlook Expressでメールの自動受信を行うには、あらかじめOutlook Expressでメールの送受信が行えるように設定しておく必要があります。この時「ユーザーの管理」機能を使用するとメールの自動受信は行えません。
- Outlook Expressの場合、初回および2回目起動時と、はじめてメールを送受信したときにキー入力が必要とするため、自動受信がうまく行えない場合があります。必ず2回以上、送受信テストを行ってから利用してください。
- 自動受信を行うには、Outlook Expressで自動切断の設定が必要です。また、自動切断の設定直後には必ずWindowsの再起動を行ってください。

メール着信ランプについて

自動受信の設定をしていると、「メール着信ランプ」()を見るだけで、自分宛てのメールが届いているかどうかを確認することができます。この機能を利用すると、メール着信の確認のためにインターネットに接続する必要がなくなります。

メールが届いていると、メール着信ランプが緑色に点灯します。

自動メール受信ユーティリティの設定をする

自動メール受信ユーティリティを始める

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「自動メール受信ユーティリティ」 「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の  をクリックする
 が緑色に変わり、メッセージの画面が表示されます。
すでに  が緑色になっている場合は、設定ができる状態です。
- 3 「OK」ボタンをクリックして、メッセージの画面を閉じる
これで、自動メール受信ユーティリティの設定を始めることができます。
次の手順で、メールパスワードを設定してください。

メールパスワードを設定する

- 1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「受信設定」ボタンをクリックする
「受信設定」の画面が表示されます。

2 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「メールパスワード」を入力する

- チェック!!** ・ここで入力するパスワードは、メールサーバに接続するときに使うパスワードです。
- ・パスワードの入力では、入力した文字がすべて「*」で表示されるので、画面上では確認できませんが、必ず半角で、大文字と小文字を区別して入力してください。

3 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順2と同じメールパスワードを入力する

4 「OK」ボタンをクリックする
これでメールパスワードの設定ができました。
続けて、自動受信する日時を設定してください。

自動受信する日時を設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「毎日」「平日」「カスタム」のいずれかの をクリックする
 が緑色に変わります。

2 「設定時間1」で受信したい時刻を選ぶ

3 「OK」ボタンをクリックする

4 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
これで、自動受信の設定は終了です。

- チェック!!** ・インターネット接続用のパスワードが保存されていないと、メールの自動受信は行えません。
- ・パスワードには、大文字 / 小文字 / 全角 / 半角の区別がありますので、間違えないように入力してください。

メールを自動受信する前に

メールを自動受信するときには、設定した時刻に本機の電源が入っている状態にしておく必要があります。しばらくパソコンから離れている間に受信する場合などは、本機をスタンバイ状態にしておくことをおすすめします。また、Outlook Expressなど自動受信するためのメールソフトは終了しておいてください。

参照 サスペンド状態にする 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能 (Windows 98の場合)」

メールを自動受信する

メールを自動受信している間は、画面が自動的に表示されて、次々に画面が切り替わります。すべて自動的に行われるので、操作の必要はありません。

チェック!! 自動受信するためのメールソフトが起動している状態では自動受信は行えません。

「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された場合、自動受信が正しく行われなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、次のような原因が考えられますので、エラーメッセージの画面を閉じて、設定を確認してください。

- ・ メールパスワードの入力に誤りがあった
- ・ インターネット接続用のパスワードが保存されていなかった
- ・ メールソフトの自動受信を行う前に、メールソフトを終了していなかった
- ・ メールソフトにメールパスワードが保存されていなかった
- ・ メールソフトに複数のアカウントが登録されていた

メールが受信されたら

Outlook Expressを自動受信するメールソフトに設定している場合は、メールを受信するとメール着信ランプが点灯します。また、Outlook Express以外のメールソフトをご利用の場合には、「新しいメールが到着しています。」というメッセージが表示されます。受信したメールは、メールソフトを起動して読みます。

メールの自動受信の設定を解除するには

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「自動メール受信ユーティリティ」 「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする
「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の (緑色) をクリックする
 が灰色に変わります。
- 3 「OK」ボタンをクリックする
- 4 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」という画面で「はい」ボタンをクリックする

これで自動受信の設定が解除されました。

P A R T

2

添付アプリケーションの 追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。



追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合
- ・標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合

追加するときの注意

- ・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブが必要です。
- ・ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-R/RWドライブ」に読み替えてください。
- ・「C:¥Program Files」の直下や「C:¥Windows」などのシステムが使用しているフォルダには、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

なお、一部の添付アプリケーションでは次の手順は必要ありません。

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
- 3** 「インストールと削除」タブを選ぶ
- 4** 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する

5 「次へ」ボタンをクリックする

6 「インストールプログラムの実行」の「インストールプログラムのコマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合

Q: ¥NSETUP.EXE

7 「完了」ボタンをクリックする

「製品の選択」が表示されます。

追加の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。



追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personal モデルのみを対象としています。Office 2000 Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・ Excel 2000(表計算ソフト)
- ・ Word 2000(ワープロソフト)
- ・ Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Personalの再セットアップ」をご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明はOffice 2000 Professionalモデルのみを対象としています。Office 2000 Professionalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・ Excel 2000(表計算ソフト)
- ・ Word 2000(ワープロソフト)
- ・ Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)
- ・ PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・ Access 2000(データベース管理ソフト)
- ・ Publisher 2000(DTPソフト)
- ・ 顧客データマネージャ(顧客情報管理ソフト)
- ・ Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

Office 2000 Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Professionalの再セットアップ」をご覧ください。

一太郎10パック

この説明は、一太郎モデルのみを対象としています。

一太郎10パックは次のアプリケーションで構成されています。

- 「一太郎10」(ワープロソフト)
- 「花子10」(図形作成ソフト)
- 「三四郎9」(表計算ソフト)
- 「Sasuke」(スケジュール、文書などを一元的に管理するツール)
- 「Shuriken」(メールソフト)

一太郎10パックをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「一太郎10・花子10パックの再セットアップ」をご覧ください。

Intel Iisync

Intel Iisyncを追加する前に、『活用ガイドハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行う前に」の手順を行ってください。

- 1 「追加の準備」(p.46)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Intel Iisync」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。

 **チェック!!** シリアル番号は変更しないでください。

- 6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ方法」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「質問」画面の「スタートアップグループにIntellisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップの完了」画面で、「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します」のチェックを外して「完了」ボタンをクリックする

赤外線通信を行う場合は「赤外線 (IR) 接続設定」(p.20) をご覧になり、設定を行ってください。シリアルケーブルによる通信を行う場合は「シリアルケーブル接続設定」(p.22) をご覧になり、設定を行ってください。

NEC Soft MPEG 1.0

NEC Soft MPEG 1.0の追加は、「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」で行います。

- 1 添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。
- 3 「次へ」ボタンを2度クリックする

 **チェック!!** 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示された場合は、「デバイスは一覧にはない」を選んで「次へ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「プラグアンドプレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検索されます」と表示されたら、「いいえ」を選び「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「インストールするハードウェアの種類を選んでください」と表示されたら、「その他のデバイス」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ハードウェアの製造元とモデルを選んでください」と表示されたら、「ディスク使用」をクリックし、「ディスクからインストール」画面で配布ファイルのコピー元に <CD-ROMドライブ名> :NECMPEGと入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「モデル」の一覧に「NEC Soft MPEG 1.0」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 9 ファイルのコピー終了後に再起動をうながすメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

プレーヤ-NX

- 1 「追加の準備」(p.46)の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」画面で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」→「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

DirectCD/Easy CD Creator(CD-R/RWモデルのみ)

- 1 「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」をCD-R/RWドライブにセットする
インストーラが起動します。
- 2 一覧から「Easy CD Creator」をクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「アップデートフロッピーディスクのインストール」画面で「コピー元」にお使いのCD-R/RWドライブを指定して「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの完了」画面で「完了」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールを行うかたずねる画面が表示されます。ここでは「はい」ボタンをクリックしてください。

- 8 一覧から「DirectCD」をクリックする
- 9 「DirectCD」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 10 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 12 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 13 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

チェック!! Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールを行うかどうか選択する画面が表示されます。ここで「いいえ」ボタンをクリックしてください。

- 14 「終了」ボタンをクリックする
- 15 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「終了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 16 再起動後、「Adaptec CreateCD」画面が表示されたら、「このダイアログを表示しない。」にチェックをつける
「CreateCD」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 17 「いいえ」ボタンをクリックする
- 18 「EASY CD CREATOR 4」画面を閉じる
- 19 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 20 「エクスプローラ」画面で「Q: ¥WIN9X¥DCD301A.REG」をダブルクリックする
- 21 「Q: ¥WIN9X¥DCD301A.REGの情報をレジストリに追加しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 22 「Q: ¥WIN9X¥DCD301A.REGの情報が、レジストリに正しく入力されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 23 「エクスプローラ」画面で「Q: ¥WIN9X¥ECDC402A.REG」をダブルクリックする
- 24 「Q: ¥WIN9X¥ECDC402A.REGの情報をレジストリに追加しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

- 25 「Q: ¥WIN9X¥ECDC402A.REGの情報が、レジストリに正しく入力されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 26 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 27 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Acrobat Reader

- 1 「追加の準備 (p.46)の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Acrobat Reader」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Acrobat Reader 4.05のセットアップ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリックする

CyberAccess

 **チェック!!** 「C: ¥Program Files」の直下や「C: ¥Windows」などのシステムが使用しているフォルダには、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。CyberWarnerを単体でインストールすることはできません。CyberAccessのインストールと同時にCyberWarner-NXをインストールしてください。

- 1 「追加の準備 (p.46)の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先ディレクトリを選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

5 「CyberAccess」画面でセットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「標準」または「カスタム」のどちらかにチェックを付けてください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標準」に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード (上記のほかに、アドバンスモード、ベーシックモードを追加選択可能)

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
カスタム	任意のモードを設定可能

手順6で選択したモードの中から選択できます。

・エキスパートパスワードの設定

エキスパートモード(CyberAccessを設定可能な管理者モード)のパスワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
カスタム	任意の文字列に変更可能 (初期値は manager)

以降、手順6~9は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準」を選択すると、自動的に設定が行われますので、手順10に進んでください。

- 6 セットアップ時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「エキスパートパスワードの設定」を設定して「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックがついていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

- 10 「CyberWarner」画面で「次へ」ボタンをクリックする
CyberWarner-NXをインストールしない場合は、「CyberWarnerをインストール」のチェックを外してください。
- 11 「セットアップ開始」画面で「次へ」ボタンをクリックする

- 12 「Cyber Access のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
「CyberWarner-NX」をインストールしない場合は、これで操作は完了です。「CyberWarner-NX」をインストールする場合は、続けて以下の操作を行ってください。
- 13 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「インストール先の選択」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 15 「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする
- 16 「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

VirusScan

- 1 「追加の準備 (p.46) の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動します。
- 3 「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Network Associatesソフトウェアの使用許諾契約書」の契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップ方法」画面で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

6 「コンポーネントの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

7 「オプションの選択 - McAfee VirusScan」画面で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」
「McAfee VirusScanセントラルのショートカット作成」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックする

エマージェンシーディスクは、後から作成することもできます。詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

 **チェック!!** 「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。

8 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

9 「インストール設定の確認」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

10 「システム領域のスキャンが完了しました」と表示されたら、「OK」
ボタンをクリックする

11 「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックする
最新の情報はインストール完了後に、「スタート」ボタン「プログラム」
「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

12 「変更事項」画面で「次へ」ボタンをクリックする

13 インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

英語モードフォント

英語モードフォントに切り替えるには、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールする必要があります。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する
- 5 「フォルダ」欄で「usfont」フォルダをダブルクリックする
- 6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」をクリックする

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

-  **チェック!!** ・ Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。
- ・ Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) をインストールする前にTCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。TCP/IPの設定を行わずにIntel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) をインストールした場合、本機起動時にエラーメッセージが表示される場合がありますが、問題はありません。TCP/IPをインストールすることにより、正常に動作するようになります。

- 1 他のアプリケーションをすべて終了させる
- 2 「追加の準備」(p.46)の手順1 ~ 7を行う

- 3 「プロダクトの選択」で「Intel(R) LANDesk(R) Client Manager 6.0 (NEC Extension)」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を確認して、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「コンポーネントの選択」画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ユーザの追加」画面で「ユーザ名」と「パスワード」を入力して「次へ」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Acrobat Readerがインストールされていないと、「警告」が表示されることがあります。「警告」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 10 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

pcAnywhere 9.0 EX

- 1 「追加の準備 (p.46)の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザの情報」画面で「名前」と「会社名」を入力して「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「オンライン使用許諾契約」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの確認」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

RSA SecurPC

- 1 userpref.!!!ファイルのバックアップを保存するための、1.44Mバイトでフォーマットした空のフロッピーディスクを1枚用意する
- 2 「追加の準備」(p.46)の手順1～7を行う
- 3 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 98」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「複写先を選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「RSA SecurPCへようこそ」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 「ランダム鍵の生成」で、「鍵生成達成率」が100%になるまで適当なキー入力及びマウスカーソルの移動操作を行い、「ランダム鍵の生成が終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 「RSA SecurPC」画面で「ユーザー名」と「ユーザーパスワード」の設定を行い、「OK」ボタンをクリックする
ユーザーパスワードは6文字以上10文字以内で設定してください。

- 9 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」と表示されたら、1.44Mでフォーマットされた空のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする
- 10 「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 11 「RSA SecurPCのインストレーションが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

Masty Data Backup

- 1 「追加の準備 (p.46) の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップ完了」画面で「完了」ボタンをクリックする
Readmeファイルを読む場合は、「Readmeファイルを読みます。」にチェックを入れてください。読み終わったら、ウインドウ右上の をクリックして閉じてください。

インターネット設定切替ツール

- 1 「追加の準備 (p.46) の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「インターネット設定切替ツール」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップの完了」画面が表示されたら、Readmeを読む場合はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを読む。」のチェックを外してから「完了」ボタンをクリックする
Readmeファイルを読む場合は、読み終わったら画面右上の[×]をクリックしてください。
本機が再起動します。

Virtual CD 2 (VA50J/BHのみ)

- 1 「追加の準備 (p.46)の手順1 ~ 7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Virtual CD 2」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Virtual CD」画面で「続行」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先パスの設定」画面で「続行」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップは正常に完了しました。」と表示されたら、「再起動」ボタンをクリックする
本機が再起動します。



削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
- ・インターネットエクスプローラは削除することはできません。
- ・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWDドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブが必要です。
- ・ここではCD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-R/RWDドライブ」に読み替えてください。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
- ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(p.65)を行ってから削除します。
- ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

なお、一部のアプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

- 1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「インストールと削除」タブを選択する

削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

-  **チェック!!**
- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、「スタート」メニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。
 - ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。
 - ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」メニュー 「フォルダ オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「詳細設定」の「表示されないファイル」で「すべてのファイルを表示する」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

チェック!! MS-IME2000を削除することはできません。

Office 2000 Personalの削除

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら、 (Officeの削除) をクリックする
- 4 「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Microsoft Office 2000 SR-1 Personalのセットアップが正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「インストーラ情報」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除した後、タスクバー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。

アイコンは、次の手順で削除することができます。

- 1 タスクバーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックする

Office 2000 Professional

チェック!! MS-IME2000を削除することはできません。

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の削除

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

チェック!! Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし、「インストールしない」をクリックする
- 5 「完了」ボタンをクリックする
- 6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「インストーラ情報」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Plannerの削除

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら
「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

チェック!! Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし、「インストールしない」をクリックする

- 5 「完了」ボタンをクリックする

- 6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

- 7 本機を再起動する

アイコンの削除

Office 2000 Professionalを削除したあと、タスクバー上にOut lookの起動アイコンが残る場合があります。

アイコンは次の手順で削除することができます。

- 1 タスクバーにあるOut lookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする

一太郎10パック

一太郎10が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。常駐解除の方法は添付の一太郎10パックのマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備」(p.64)の手順1～2を行う

- 2 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Voice一太郎10・花子10パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Voice一太郎10・花子10パックの追加と削除」で「ファイルの追加・削除」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「Voice一太郎10・花子10パックのファイルの追加・削除」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
アプリケーションや機能を選んで削除することもできます。
- 7 「ジャストシステム共通ファイルも削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする
「Windowsまたは他のアプリケーションがATOKを使用しています。ATOKはコンピュータを再起動するときに削除します。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
「指定されたフォルダC:¥JUST¥VOICEは存在しません。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。
- 10 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
「指定されたフォルダC:¥JUST¥ビデオは存在しません。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。
- 11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリックする
削除が始まります。

- 12** 「Voice—太郎10・花子10パックのセットアップ終了」が表示されたら「再起動」ボタンをクリックする
Windows 98が自動的に再起動します。

Intellisync

- 1** 「削除の準備」(p.64)の手順1～2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「Intellisync」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。
- 5** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

NEC Soft MPEG 1.0

NEC Soft MPEG 1.0の削除は、「コントロールパネル」の「マルチメディア」で行います。

- 1** プレーヤー-NXなど、NEC Soft MPEG 1.0を使用するアプリケーションが起動していないことを確認する
- 2** 「コントロールパネル」を開き「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブをクリックする
- 4** 「メディアコントロールデバイス」の左のをクリックする
デバイスドライバの一覧が表示されます。

- 5 「NEC Soft MPEG 1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG 1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 6 「削除」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 7 「ドライバが削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 削除後に再起動をうながすメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 9 本機を再起動する

プレーヤ-NX

- 1 「削除の準備」(p.64)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「「プレーヤ-NX」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

DirectCD/Easy CD Creator(CD-R/RWモデルのみ)

DirectCD/Easy CD Creatorは、「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」から削除しないでください。

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「Adaptec DirectCD」「アンインストール」をクリックする

- 2 「Adaptec DirectCD」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 3 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Adaptec Easy CD Creator 4」 「アンインストール」をクリックする
- 5 「Easy CD Creator 4およびコンポーネントすべてを削除してよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除がはじまります。

 **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、4つのボタンのうち一番右側のボタンをクリックしてください。

- 6 「アンインストールが完了しました!」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

Acrobat Reader

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1 ~ 2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat 4.0」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Adobe Acrobat 4.0」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。
- 4 「コンピュータからプログラムを削除」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

CyberAccess

CyberWarner -NXのみを削除する場合は、手順5から行ってください。

- 1 「エキスパートモード」以外のモードでお使いの場合は、「エキスパートモード」にする
- 2 「削除の準備」(p.64)の手順1～2を行う
- 3 「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

引きつづきCyberWarner -NXの削除を行います。

- 5 インジケータ領域(タスクトレイ)に「CyberWarner -NX」アイコンがある場合はアイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 6 「CyberWarner -NXのシャットダウン」が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 7 「削除の準備」(p.64)の手順1～2を行う
- 8 「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner -NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 9 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップ」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

VirusScan

- 1 「削除の準備」(p.64)の手順1～2を行う

- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.3a (プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「McAfee VirusScanを本当に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

英語モードフォント

日本語モードへ切り替えるには、インストールした英語モードフォントを削除する必要があります。

- 1 「コントロールパネル」を開き「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」(短く表示されることもあります) を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

Intel® LANDes® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

- 1 「削除の準備 (p.64)」の手順1 ~ 2を行う

- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「'Intel LANDesk Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) 」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「LDCMのアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

pcAnywhere 9.0 EX

- 1 「削除の準備 (p.64) の手順1 ~ 2 を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「ファイル検出の確認」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」画面で「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 6 「'pcAnywhere 9.0 EX' はシステムから削除されました。コンピュータを再起動して、アンインストール時に使用中だったファイルを削除することをお勧めします。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 「コンポーネントからpcAnywhereをアンインストールしました。今すぐに再ブートしますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

RSA SecurPC

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1 ~ 2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「RSA SecurPCアンインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

Masty Data Backup

- 1 Masty Data Backupを終了する
インジケータ領域(タスクトレイ)に時計アイコンが表示されている場合は、インジケータ領域(タスクトレイ)の時計アイコン上で右クリックし、表示されたダイアログボックスの右上の をクリックし、「自動実行を終了しますか?」と表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 2 「削除の準備 (p.64)の手順1 ~ 2を行う
- 3 「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup/F」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「Masty Data Backup/F」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されるので、「はい」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する

- チェック!!** ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows 98の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

インターネット設定切替ツール

- チェック!!** インターネット設定切替ツールを起動している場合は、終了させてから削除を行ってください。

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「インターネット設定切替ツール」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「インターネット設定切替ツール」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 5 本機を再起動する

Virtual CD (VA50J/BHのみ)

- 1 「削除の準備 (p.64)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Virtual CD」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Virtual CDのアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックする

- 4 「Virtual CDをシステムからアンインストールしていいですか?」
と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Virtual CDを完全にアンインストールしました。アンインストールを完了するにはシステムを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

PART

3

パソコンのメンテナンスと管理

パソコンのメンテナンスのしかたやトラブルからパソコンを守るための方法などを説明しています。



パソコンをウイルスから守る

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル(拡張子が .EXE や .COM)に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない

- ・ インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ ウイルスチェックを定期的に行う

本機にはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」が添付されています。

また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

参照▶ バックアップの取り方 このPARTの「データのバックアップをとる」(p.84)

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先：情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部 〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室
電話 03-5978-7509
FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。

VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

参照 「VirusScan」のインストール PART2の「追加のしかた」の「VirusScan」(p.57)

ウイルスの検査には次の4通りの方法があります。

- ・VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスに感染しないように検査します。
- ・ScreenScan
スクリーンセーバーの実行中に、ウイルスに感染していないかを検査します。
- ・VirusScanスケジューラ
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスに感染していないかをチェックします。
- ・VirusScan
その場でウイルスに感染していないかを検査します。

- チェック!!**
- ・ワクチンソフトのウイルス検索エンジンとウイルスのデータベースファイルは順次更新されます。新種のウイルスが出現することがありますので、これらのファイルは定期的に更新してください。
詳しくは「新種のウイルスに備える」(p.83)をご覧ください。
 - ・「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。

「VShield」の使いかたについては、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。

「VirusScanスケジューラ」の使い方については、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。

外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。

「VirusScan」の使い方については、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、VirusScanセントラルのオンラインヘルプをご覧ください。

新種のウイルスに備える

本機に添付されているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。



チェック!!

- ・インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)は、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。ただし、「VirusScanセントラル」の「アップデート」機能で「インターネットアクセス可能ですか」の「いいえ」を選んだ場合は、日本国外に電話をかけることがありますので十分ご注意ください。
- ・電源を入れたあとにDATファイルのアップデートを促す画面が表示されることがあります。インターネットに接続できない環境で、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックして先に進むと、日本国外に電話をかけることがありますので十分ご注意ください。
なお、アップデートを中止する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

データのバックアップをとる

バックアップとは

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合や、ハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なバックアップが有効です。

バックアップが必要なデータ

本機のシステムが故障した場合には、添付の「バックアップ CD-ROM」を利用して購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます(パスワードを除く)。

再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のようになります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	<ul style="list-style-type: none">・ワープロの文書・入力した伝票のデータ・購入後にインストールしたアプリケーション・送受信したメール・メールのアドレス帳・インターネットの設定・BIOSセットアップメニューの設定
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	<ul style="list-style-type: none">・Windows 98(OS)・添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っているアプリケーション(ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要)

インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再追加すると元の状態に戻ります。

参照 ▶ 再セットアップ 『活用ガイド 再セットアップ編』

バックアップをとるタイミング

誤ってデータを消してしまったり、システムが故障するなどの事態は、いつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびに、バックアップをとってください。

また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップをとることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体(バックアップ先)が必要です。

次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	<ul style="list-style-type: none"> 記録スピードが速い 追加の機器が必要ない 容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> 記録スピードが速い 容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 別売の外付けハードディスクやPCカードが必要
CD-RやCD-RW	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが可能 記録スピードが比較的速い 容量が大きい(数百Mバイト程度) 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 別売のCD-RやCD-RWと、お使いの機種によってはディスクを扱えるドライブやPCカードが必要
フロッピーディスク	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが可能 他の媒体に比べて安い 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 容量が小さい(約1.4Mバイト) 記録スピードが遅い 別売のフロッピーディスクが必要

バックアップの手順

内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップをとる

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。

このDドライブにバックアップをとります。

ハードディスク自体は故障していても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windows 98が起動しなくなる場合があります。

このような場合に「Cドライブのみを再セットアップする」方法で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが(パスワードを除く)、Dドライブのデータは残ります。

そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要がないため、購入直後からバックアップを取ることができます。

参照▶ Cドライブのみを再セットアップする 『活用ガイド 再セットアップ編』の「カスタム再セットアップ～Cドライブのみを再セットアップする」

フロッピーディスクなどにバックアップをとる

Dドライブにバックアップを取った後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-RWなど、Dドライブとは別の記憶媒体にもバックアップをとっておくと安全です。

万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップをとっていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。

お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップをとるために、別売の機器を購入する必要があります。

ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクのメンテナンスをする

メンテナンスとは、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をすることです。このパソコンにはこれらのメンテナンスのためのツールがあらかじめインストールされています。

ハードディスクを検査 / 修復する

「スキャンディスク」を使うことで、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータに障害がないかどうかを検査することができます。

「スキャンディスク」は、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)や、クラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないか検査してください。もし障害があった場合は、修復するようにしてください。

「スキャンディスク」の使い方については、Windowsのヘルプをご覧ください。

ハードディスクのデータを整理する

「デフラグ」を使うことで、ハードディスク上のデータのフラグメンテーション(断片化)を解消し、データの並びを連続した状態に最適化することができます。

フラグメンテーション(断片化)とは、データがディスクの空いている場所に、バラバラに保存されている状態をいいます。この状態になると、データが連続していないため、データの読み書きに時間がかかるようになります。

「デフラグ」の使い方については、Windowsのヘルプをご覧ください。

使用していないファイルを削除する

「ディスククリーンアップ」を使うことで、知らないうちにハードディスクにたまっていた不要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

不要なファイルには、インターネットを利用したときやソフトウェアのインストール時、ソフトウェアを使用したときにソフトウェアが作成する一時ファイルなどがあります。

「ディスククリーンアップ」の使い方については、Windowsのヘルプをご覧ください。

メンテナンスを定期的に行う

ハードディスクのトラブルを予防するためには、定期的にメンテナンスをすることが重要です。「メンテナンスウィザード」を使うことで、ハードディスクのメンテナンスを決められた時間に自動的に実行するように設定することができます。

「メンテナンスウィザード」の使い方については、Windowsのヘルプをご覧ください。

重要なファイルの管理

システムファイルをチェックする

Windows 98の動作が不安定になったときは、システムファイルにトラブルが起きていることが考えられます。「システムファイルチェッカー」は、システムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルを修復することができます。

システムファイルとは、Windows 98の動作にかかわる重要なファイルのことです。代表的なシステムファイルの拡張子には「dll_」、「com_」、「vxd_」、「exe_」、「drv_」、「ocx_」、「inf_」などがあります。

「システムファイルチェッカー」の使い方については、Windowsのヘルプをご覧ください。

- ✔ **チェック!!** システムファイルチェッカーなどのシステムツールを使う前には、起動中のアプリケーションを終了させてください。

P A R T

4

他のOSを利用する

Windows NT 4.0、Windows 2000 Professionalを本機で使用方法を説明しています。

Windows NT 4.0を使う

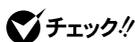
本機でWindows NT 4.0を使う際に知っておいていただきたいことや、セットアップの方法について説明しています。

セットアップの準備

確認事項

セットアップを行う前に、次の点をご確認ください。

- ・「アプリケーションCD-ROM」の¥NT40ディレクトリにWindows NT 4.0の補足事項を記述したREADME.txtがあります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・周辺機器の接続と設定が必要な場合は、システムのセットアップ後にもう一度行ってください。周辺機器の設定については『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・このPARTでは、お使いの機種により、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」に、「フロッピーディスクドライブ」を「スーパーディスクドライブ」に読み替えてください。
- ・このPARTでは、Windows 98がインストールされているドライブをCドライブ、フロッピーディスクドライブをAドライブ、CD-ROMドライブをEドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異なる場合があります。



チェック!!

- ・「アプリケーションCD-ROM」でセットアップできるのは、本機に標準で添付されているソフトウェアのみです。本機ご購入後にご自分でインストールしたアプリケーションは復元されません。
- ・ご自分で作成したデータは復元されません。また、変更した設定やデータはすべて消え、ご購入時の初期状態に戻ります。
- ・大切なデータはセットアップを行う前に必ずバックアップをとっておいてください。
- ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。
- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・スタンバイ状態(サスペンド)ではセットアップできません。一度スリープ状態から復帰(レジューム)し、Windowsを終了させてから本機の電源を切ってください。

- ・バッテリー駆動状態では、セットアップできません。必ず、ACアダプタを接続して行ってください。
- ・セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・セットアップ中はスリープ状態にしないでください。
- ・セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。
- ・Windows NT 4.0をセットアップした直後では、8Gバイト以上のハードディスクドライブを利用することはできません。この問題については、「サービスパック4」以降の「サービスパック」で修正されています。Windows NT 4.0をセットアップした後、「1-3 Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 6aの利用」(p.102)をご覧ください。「サービスパック」をインストールしてください。

スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項(VA70J、VA65Jのみ)

次の説明は、スーパーディスクドライブを内蔵しているモデルのみを対象としています。それ以外のモデルの場合は、次の操作を行う必要はありません。スーパーディスクドライブでは、「Windows NT Workstation Setup Disk」(フロッピーディスク)を使用したセットアップは行えません。

スーパーディスクドライブ内蔵モデルをご利用の場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」(CD-ROM)だけを使ってWindows NT 4.0のセットアップを行う必要があります。BIOSセットアップメニューを次のように設定することによって、CD-ROMからWindows NT 4.0のセットアップが可能になります。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面が表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押す
- 3 【**↑**】を押して「起動デバイスセットアップ(Boot Device Setup)」を選択し、【Enter】を押す
- 4 【PgDn】または【PgUp】を押して、「第一起動デバイス(1st Boot Device)」を「CD/DVD」にする
- 5 【Esc】を押す
- 6 【F10】を押す

- 7** 「現在の状態を保存して設定を終了しますか?」と表示されたら
「はい」を選び、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューの終了後、Windows NT 4.0のセットアップがCD-ROMドライブから行えるようになります。

上記の設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NT 4.0のセットアップ後は元に戻してください。

セットアップの前に行うこと

1. 必要なものをそろえる

Windows NT 4.0をセットアップするには、次のものがが必要です。

- ・Windows NT Workstation CD-ROM Disc
(別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの)
- ・Windows NT Workstation Setup Disk
(別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの)
- ・『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』
(別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの)
- ・本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」
- ・1.44Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスク2枚
1枚に「システム修復ディスク」と書いたラベルを、もう1枚に「アップデートディスク」と書いたラベルを貼っておいてください。

2. 「アップデートディスク」を作成する

次の手順でアップデートディスクを作成します。

- 1** 内蔵ハードディスクからWindowsを起動する
- 2** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する
- 3** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、フロッピーディスクドライブに「アップデートディスク」というラベルを貼ったフロッピーディスク(「1.必要なものをそろえる」で準備したものを)をセットする

4 フロッピーディスクにファイルをコピーする

MS-DOSプロンプトから次のように入力すると、コピーが始まります。

- ・VA70J、VA65Jの場合

```
E:【Enter】  
CD ¥NT40【Enter】  
CDNTUP1.BAT A【Enter】
```

- ・その他の機種の場合

```
E:【Enter】  
CD ¥NT40【Enter】  
CDNTUP2.BAT A【Enter】
```

CDNTUPのあとに入力するフロッピーディスクドライブ名には、コロン(:)を付けないでください。

以降は画面の指示に従って操作し「アップデートディスク」を作成してください。

3. 「Service Pack6aを入手する」

セットアップの途中で「Service Pack6a」をインストールする手順がありますので、以下のアドレスから「Service Pack6a」を入手してください。

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP6/default.htm>

4. BIOSセットアップメニューを設定する

Windows NTをインストールする前に、BIOSセットアップメニューの「省電力セットアップ」で次の設定にしてください。

自動ハイバネーション : 使用しない

スリープ種別 : サスペンド

上記設定をしないとマシン起動時にハイバネーション関連のエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されても動作上問題ありません。

以上でセットアップの準備は終了です。

Windows NT 4.0を使うときの注意

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点にご注意ください。

- ・Windows NT 4.0の2000年問題対応について

Windows NT 4.0を使用する場合には、2000年問題対応が必要です。

NECのホームページ 98Information (<http://www.nec.co.jp/98/>)では、コンピュータの2000年問題対応について情報を提供していますので、Windows NT 4.0の2000年問題対応情報と修正プログラムを入手して適用してください。

参照▶ 2000年問題 PART5の「2000年問題について知りたい」(p.244)

- ・ Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・ Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・ Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。
 - ・ PCカードを使用中
 - ・ ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・ プリンタへ出力中
 - ・ 通信用アプリケーションを実行中
 - ・ 音声または動画を再生中
 - ・ Windows NT 4.0のシャットダウン中

また、スタンバイ状態(サスペンド)/スリープ状態からの復帰(レジューム)で問題が発生する場合は、BIOSセットアップメニューを次のように設定し、これらの機能を無効にしてください。

「省電力セットアップ」を次のように設定してください。

- システムスイッチ切り替え : パワーボタン
- 省電力レベルの設定 : オフ
- LCDパネル連動スリープ : 使用しない

すでにネットワークがインストールされている状態でプロトコルやネットワークサービスを追加しようとする、「Windows NT CD-ROM」を要求される場合があります。この場合は、CD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM」をセットして、CD-ROMドライブのアクセスランプが消えてから「続行」ボタンをクリックしてください。

Windows NT 4.0のセットアップ

ここでは、Windows NT 4.0のセットアップ手順について説明します。より詳しい手順については、『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』、オンラインヘルプ、またはWindows NT 4.0の説明ファイルをご覧ください。

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデルの場合

次の説明は、CD-ROMモデルまたはCD-R/RWモデルを対象にしています。CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合は、「CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合」(p.100)をご覧ください。

- チェック!!** ・スーパーディスクを使用してWindows NT 4.0をセットアップする場合は、必ず前述の「スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項」(p.93)でBIOSの設定を変更してからセットアップを行ってください。
- ・スーパーディスクをご利用の場合は、手順2から作業してください。

- 1** 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセットする
- 2** CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする
- 3** 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える
- 4** 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら【Enter】を押す
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
- 5** 「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押す
- 6** ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み、【F8】を押す
【PgDn】を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

- チェック!!** 本機に他のWindows NT 4.0がインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認が表示されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

- 7** キーボードの種類で、「106日本語キーボード」を選択する
- 8** 「106日本語キーボードでよろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す

9 画面の指示に従って、セットアップを続行する

10 Windows NT 4.0をインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリを設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」または、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

11 画面の指示に従って、セットアップを続行する
ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されます。

12 ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、本機を再起動する
テキストセットアップが終了し本機を再起動させると、グラフィックセットアップの画面が表示されます。

13 画面の指示に従って次の各設定を行う

- ・ セットアップ方法
- ・ 個人情報の入力
- ・ プロダクトIDの登録
- ・ コンピュータ名の登録
- ・ 管理者アカウントのパスワードの登録
- ・ システム修復ディスク作成の選択(問題が発生した場合に備えて必ず選択してください)
- ・ インストールするファイルの選択

プロダクトIDは、添付の『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

14 ここでネットワークに参加する場合は、「周辺機器の設定」の「10 ネットワークのインストール」にある「10-1 Windows NT 4.0のセットアップ中にインストールする場合(p.120)」の手順でネットワークをインストールする

 **チェック!!** LANを内蔵していないモデルや、Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークをインストールする場合は、「まだネットワークへ参加しない」を選び、「次へ」ボタンをクリックし、次の手順に進んでください。

- 15** 日付と時刻の設定 / ディスプレイの設定を行う
画面の指示に従って、次の項目について設定してください。
- ・ 日付、時刻および時間帯の設定
 - ・ ディスプレイの設定(確認のみ)
「検出されたディスプレイ」の画面が表示され、“vga互換ディスプレイアダプタ”が検出されます。
- 16** 「OK」ボタンをクリックする
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 17** 「OK」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが終了するまで待ちます。
- 18** 手順13で「システム修復ディスクを作成する」を選択した場合、
「システム修復ディスク」というラベルを貼ったフロッピーディスク「1. 必要なものをそろえる」で用意したものをフロッピーディスクドライブにセットして「はい」ボタンをクリックし、「システム修復ディスク」の作成を行う
- 19** 「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスクドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROMドライブから「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出す
- 20** 「コンピュータの再起動」ボタンをクリックして、Windows NT 4.0を再起動する

以上で、Windows NT 4.0のセットアップは終了です。

-  **チェック!!** ・スーパーディスクドライブをお使いの方は、「スーパーディスクドライブを使用する際の注意事項」(p.93)で変更したBIOSの設定を必ず元の設定に戻してください。
- ・ファイルシステムとしてNTFSを選択した場合は、最初のシステム起動でファイルシステムの変換を行い、その後自動起動します。

Windows NT 4.0のセットアップが終了した後でネットワークをインストールする場合は、「10-2 Windows NT 4.0セットアップ終了後にインストールする」(p.120)をご覧ください。

それ以外の場合は、「周辺機器の設定」(p.101)をご覧ください。

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合

次の説明は、CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルのみを対象にしています。

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデルの場合は、「CD-ROMモデル、CD-R/RWモデルの場合」(p.97)をご覧ください。

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルでは、別売のCD-ROMドライブやネットワークを利用して、Windows 98のMS-DOSプロンプトからWINNTコマンドを実行して次のようにセットアップを行います。

1 ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファイル(Windows NT CD-ROM Disc1のi386ディレクトリの下の子ファイル)を、ネットワークサーバの共有ドライブにコピーする

2 Windows 98を起動する
CD-ROMドライブにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc1をセットします。ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソースファイルをコピーしたドライブに接続します。

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力し、WINNTコマンドを実行する

```
Q:【Enter】  
CD ¥i386【Enter】  
WINNT /B【Enter】
```

ここでは、CD-ROMドライブ名を「Q」、ディレクトリ名を「i386」として説明しています。実際と異なる場合は読み替えてください。

4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップする

この後は、「CD-ROMモデル、CD-R/RWモデルの場合」(p.97)の手順4以降を実行してください。

 **チェック!!** 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

1 ドライバのアップデート

1-1 ドライバをコピーする

1 「スタート」ボタン「プログラム」「コマンドプロンプト」をクリックする

2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

3 次のように入力する

・VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

E:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY2.BAT【Enter】

・VA70J、VA65Jの場合

E:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY1.BAT【Enter】

・VA50J/BHの場合

E:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY3.BAT【Enter】

4 画面の指示にしたがってコピーする

以上で、ドライバのコピーは終了です。

1-2 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

1 「スタート」ボタン「プログラム」「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する

2 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する

C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

カレントディレクトリがC:¥NT40のルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する

UPDATE【Enter】

3 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了です。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

1-3 Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 6aの利用

Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 6a」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

1 Service Pack 6aの「README.TXT」を読む

2 Service Pack 6aのインストールを行う



チェック!!

・ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

・「Authenticode(™) Security Technology」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックしてセットアップを続行してください。

・本機で新しいコンポーネント(ドライバなど)を追加または変更した場合は、再度Service Pack 6aをインストールする必要があります。

例)「コントロールパネル」の「ネットワーク」を使用してネットワークのインストールを行った場合

・本機に添付されていないアプリケーションやオプションボードなどを追加する場合は、Service Pack 6aへの対応状況をご確認の上でお使いください。

3 本機を再起動する

2 ワンタッチスタートボタンのセットアップ(VA70J、VA65Jを除く)

ワンタッチスタートボタンを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Windows NT エクスプローラ」をクリックして、エクスプローラを起動する
- 2 メニューバーの「表示」 「オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブをクリックする
- 4 「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを外して、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「C: ¥NT40 ¥MFNB」にある「 ¥PS2KBNT . INF」を右クリックして、メニューから「インストール」を選択する
ファイルのコピーが始まります。
- 6 ファイルのコピーが終了すると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されるので、「いいえ」ボタンをクリックする
- 7 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Windows NT エクスプローラ」をクリックする
エクスプローラが起動します。
- 8 「C: ¥NT40 ¥MFNB」にある「MFKGTKEY . INF」を右クリックし、表示されたメニューから「インストール」をクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 9 ファイルのコピーが終了すると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

ユーティリティのインストール

次の手順でユーティリティのインストールを行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「名前」欄に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40 ¥MFNB ¥INSTALL.EXE
- 3 インストールが終了したら、「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリックする
- 4 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

 **チェック!!** ワンタッチスタートボタンの機能を使う場合は、Internet Explorer 4.01 SP2以上をインストールする必要があります。

3 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 4 「変更」ボタンをクリックする
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6 次のディレクトリを指定して「OK」をクリックする
VA70J、VA65Jの場合
C: ¥NT40 ¥SAVAGEMX
VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合
C: ¥NT40 ¥MOBILITY
VA50J/BHの場合
C: ¥NT40 ¥SM721

7 「ディスプレイ」リストボックスから、次のドライバを選ぶ

VA70J、VA65Jの場合

「S3 Inc. Savage/MX Display Driver Version ****」

はバージョン番号です。*のところに表示される番号は機種によって異なる場合があります。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

「ATI RAGE MOBILITY-M PCI(日本語)」

VA50J/BHの場合

「Silicon Motion LynxEM Family」

8 「OK」ボタンをクリックする

当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

ドライバ組み込みの結果が表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする**11** 「閉じる」ボタンをクリックする**12** 「閉じる」ボタンをクリックする

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップは終了です。次回起動時から、アクセラレータドライバが有効になります。

VA50J/BHの場合は、引き続き次の手順でセットアップが必要です。

14 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする**15** 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

C: ¥NT40 ¥SM721 ¥SETUP .EXE

16 「よろこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

- 17 「プログラムフォルダの選択」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 18 「セットアップの完了」の画面で「完了」ボタンをクリックする
- 19 本機を再起動する

4 内蔵サウンドの利用

内蔵サウンドを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40 ¥YMF743 ¥SETUP.EXE
- 3 「ようこそ」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「YAMAHA AC-XG Audio Driver」の画面で「OK」ボタンをクリックする
- 5 「YAMAHA AC-XG Driver」の画面で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 再起動後、「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 7 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40 ¥Y743MIDI ¥Disk1 ¥SETUP.EXE
- 8 「ようこそ」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製品ライセンス」の画面で、「はい」ボタンをクリックする
- 10 「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリックする

- 12** 「Windowsの再起動」の画面で、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

VA70J、VA65Jの場合

- 1** 「コントロールパネル」を開き「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3** 「一覧にない、または更新されたドライバ」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「ドライバのインストール」画面で、「C: ¥NT40¥MAESTRO2」のディレクトリを指定して「OK」ボタンをクリックする
- 5** ドライバの一覧に「ESS AudioDrive M2/M2E xxxx」が選択されていることを確認してから「OK」ボタンをクリックする

xxxxはバージョン番号です。xxxxの番号は、機種によって異なる場合があります。

- 6** 「ドライバは存在します」と表示された場合は、「新しいドライバ」をクリックする
- 7** 「システム設定の変更」の画面で、「再起動する」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

VA50J/BHの場合

- 1** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2** 「C: ¥NT40¥EV1938 ¥EV1938.BAT」と入力して、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする

- 4 「C:\¥NT40\¥EV1938\¥JAPANESE\¥NT4DRV\¥UPDPCINT.EXE」と入力して「OK」ボタンをクリックする
- 5 「Creative SB AudioPCI ドライバ」の画面で「OK」ボタンをクリックする
- 6 「システム設定の変更」の画面で再起動をうながされるので、「はい」ボタンをクリックする

5 NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。

次の手順でセットアップを行います。

NXパッドのセットアップ

- 1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 「全般」タブをクリックする
- 3 「変更」ボタンをクリックする
- 4 「デバイスの選択」で、「ディスク使用」をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面が表示されたら、ハードディスクドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(C:\¥NT40\¥SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- 6 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスのインストールの確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 8 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする

- 再起動に関するメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックして本機を再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 必要に応じて設定を行う
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 3 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする
「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

6 内蔵FAXモデムのセットアップ

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。
内蔵FAXモデムを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合
モデムとLANを同時に搭載しているモデルの場合とLAN非搭載 モデムのみ
のモデルの場合では、手順が異なります。お使いのモデルに合わせた手
順を行ってください。

- ・ モデム / LAN同時搭載のモデルの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする
- 3 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ
 - ・ 「COMポート番号」は必ず「2」を選んでください。
 - ・ 「I/Oポートアドレス」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。
 - ・ 「割り込み番号」は、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャンネル」をご覧ください。割り込みレベル一覧に記載されている値を設定してください。

- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「システム設定の変更」画面で「再起動しない」をクリックする
- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「コントロールパネル」の「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 8 「新しいモデムのインストール」画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されます。
- 10 「C: ¥NT40 ¥XCMODEM」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 11 次のドライバが選ばれていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
Xircom MPC1+ Modem 56 WinGlobal
- 12 どのポートにインストールするかを尋ねてくるので、「選択したポート」にチェックを付ける
- 13 「COM2」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「所在地情報」を設定し、「次へ」ボタンをクリックする
「所在地情報」画面は、1回目のモデムセットアップ時のみ表示されます。既に他のモデムをセットアップしているときなどは、表示されないことがあります。
- 15 「次へ」ボタンをクリックする
- 16 以降は、画面のメッセージに従って操作し、セットアップ終了後、本機を再起動する
- 17 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」をクリックする
コマンドプロンプトが表示されます。

18 コマンドプロンプトから次のように入力する

```
C:【Enter】  
CD ¥NT40¥XCMODEM【Enter】  
XIRCID【Enter】
```

19 しばらくして、次のプロンプトが表示されたら、コマンドプロンプトを終了する

```
C: ¥NT40¥XCMODEM>Cselect /00  
C: ¥NT40¥XCMODEM >
```

20 本機を再起動する

- ・ LAN非搭載(モデムのみ)のモデルの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「名前」欄に「C: ¥NT40¥LTMODEM¥SETUP.EXE」と入力して、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Next」ボタンをクリックする
- 4 「Install new modem driver and components」をチェックし、「Next」ボタンをクリックする
- 5 「Yes, I want to restart my computer now.」をチェックし、「Finish」ボタンをクリックする

VA70J、VA65Jの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする

- 3 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ
 - ・「COMポートの番号」は必ず「5」を選んでください。
 - ・「IOポートアドレス」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。
 - ・「割り込み番号」は、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャンネル」をご覧ください。
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「システム設定の変更」の画面で「再起動しない」をクリックする
- 6 「閉じる」ボタンをクリックする
- 7 「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする
- 8 「新しいモデムのインストール」画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されます。
- 10 「C: ¥NT40 ¥LTMODEM」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 11 次のドライバが選ばれていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRBA)
- 12 どのポートにインストールするかを尋ねてくるので、「選択したポート」にチェックを付ける
- 13 「COM5」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「所在地情報」を設定し、「次へ」ボタンをクリックする
「所在地情報」画面は、1回目のモデムセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、表示されないことがあります。
- 15 「次へ」ボタンをクリックする

16 以降は、画面のメッセージに従って操作し、セットアップ終了後、本機を再起動する

VA50J/BHの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする
C: ¥NT40¥RWMODEM¥SETUP.EXE
- 3 「モデムボードインストールウィザード」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Conexant SoftK56 Data, Fax Modem」が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「モデムドライバのインストールが成功しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する

7 FAXモデムカードを使用する場合

FAXモデムカードを使用する場合には、次の手順で設定してください。

7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていることを確認する

- 1 PCカードスロットにFAXモデムカードを入れる
- 2 Windows NT 4.0を起動する
- 3 「コントロールパネル」を開き「PCカード(PCMCIA)」アイコンをダブルクリックする
- 4 「ソケットの状態」タブをクリックする
- 5 目的のFAXモデムカードをポイントする

-  **チェック!!** 目的のFAXモデムカードの名前が表示されない場合は、PCカードが正しく挿入されていない可能性があります。『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「PCカードのセットのしかたと取り出し方」をご覧ください。カードを正しく入れ直してください。

6 「プロパティ」ボタンをクリックする

7 「カード情報」タブをクリックする

FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されている場合には、「デバイスマップ」の画面が表示され、使用するFAXモデムカードのCOM番号が表示されます。

このCOM番号は、「7-2 モデムのセットアップを行う」(p.114)や「7-4 FAXモデムのリソース(IRQ)を変更する」(p.116)の操作でも使用しますので、覚えておいてください。

-  **チェック!!** 「利用不可」と表示された場合は、FAXモデムカードのリソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。「7-4 FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する」(p.116)をご覧ください。FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してください。

7-2 モデムのセットアップを行う

FAXモデムカードをダイヤルアップネットワークなどで使用する場合には、モデムのセットアップが必要です。

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックする

初めてモデムをセットアップする場合には、自動的に「新しいモデムのインストール」ウィザードの画面が表示されます。

既にモデムがセットアップされている場合には、「モデムのプロパティ」が表示されます。「追加」ボタンをクリックすると「新しいモデムのインストール」ウィザードの画面が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

自動的にモデムが検出され、使用するFAXモデムカードのCOM番号の部分に「標準モデム」と表示されます。

-  **チェック!!** モデムが検出されなかった場合、FAXモデムカードに割り当てられているリソース(IRQ)が妥当でない可能性があります。「7-4 FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する」(p.116)をご覧ください。FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してからモデムをセットアップしてください。

- 3 使用するFAXモデムカードにWindows NT 4.0用の.infファイルが添付されている場合は、.infファイルをインストールする
.infファイルの入ったフロッピーディスクを本機のフロッピーディスクドライブに入れる
「変更」ボタンをクリックする
「ディスク使用」ボタンをクリックする
コピー元にフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力し、「OK」ボタンをクリックする
使用するFAXモデムカードの名称をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
使用するFAXモデムカードのCOM番号上のモデム名が変更されたことを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「所在地情報」画面が表示された場合、所在地情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「完了」ボタンをクリックする

参照

Windows NT 4.0用の.infファイルがない場合には、Windows 98用の.infファイルで代用できることもあります。ただし、Windows 98用の.infファイルすべてがWindows NT 4.0で正しく動作するわけではありません。
上記の手順のあとに進むか、またはFAXモデムカードの通信速度に合った「(標準のモデム ドライバ)」に変更してください。

7-3 モデムのセットアップ状況を確認する

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「ハイパーターミナル」 「ハイパーターミナル」をクリックする
「新しい接続」ウィザードが表示されます。
- 2 「キャンセル」ボタンをクリックする
- 3 「ファイル」メニュー 「プロパティ」をクリックする
「接続の設定」タブの画面が表示されます。
- 4 「接続方法」リストから使用するモデム名をクリックする
- 5 「モデムの設定」ボタンをクリックする

6 「ポート」に正しいCOM番号が表示されているか確認し、よければ「OK」ボタンをクリックする

7 「OK」ボタンをクリックする

8 ハイパーターミナルのウィンドウ内に「AT」と入力する
「AT」と表示されます。

9 【Enter】を押す

モデムのセットアップが正しく行われている場合には、「OK」のメッセージが表示されます。

ハイパーターミナルのウィンドウに「AT」と表示されず、「OK」のメッセージも表示されない場合は、Windows NT 4.0でFAXモデムカードが認識されていないか、モデムのセットアップが正常に終了していない可能性があります。「7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていることを確認する」(p.113)をご覧ください。FAXモデムカードが正しくセットアップされているか確認してください。

7-4 FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する

FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されなかったり、正しく動作しない場合は、リソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。その場合は、次の手順でリソース(IRQ)を変更してください。

1 本機で利用可能なリソース(IRQ)を確認する



本機で利用可能なリソース 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」

2 「スタート」ボタン 「プログラム」 「管理ツール」 「WindowsNT 診断プログラム」をクリックする

3 「リソース」タブをクリックする

現在のリソース(IRQ)の設定状況が表示されるので、空いているリソース(IRQ)を確認してください。

Windows NT 4.0では、FAXモデムカードは本機内蔵のシリアルポートと同じ「Serial」というデバイス名で表示されます。IRQ4の「Serial」は本機内蔵のシリアルポート、IRQ4以外の「Serial」がFAXモデムカードを表しています。

4 「コントロールパネル」を開き「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする

 **チェック!!** 「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」でデバイスマップが「利用不可」と表示されている場合は、ここでポートを追加する必要があります。次の手順でCOMポートを追加してください。

「追加」ボタンをクリックする

「OK」ボタンをクリックする

Windows NT 4.0の再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

5 「7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていることを確認する(p.113)で確認したポートまたは上記の(チェック)で追加したポートをクリックする

6 「設定」ボタンをクリックする

7 「詳細」ボタンをクリックする

8 「I/Oポートアドレス」リストで「既定値」をクリックする

「既定値」を選ぶと、次のように設定されます。

COM1:3f8	COM3:3e8
COM2:2f8	COM4:2e8

9 「割り込み番号(IRQ)」リストから、現在空いているリソース(IRQ)をクリックする

10 「OK」ボタンをクリックする

11 Windows NT 4.0の再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

13 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする

14 「名前」欄に「c:\mnt40\drivers\reg」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

FAXモデムカードレジストリ設定ツールが起動し、「Serial*」と表示されます。

15 「Serial*」の*の部分を、FAXモデムカードのCOM番号から「1」を引いた値になるように設定する

COM番号が1の場合は「Serial0」、COM番号が2の場合は「Serial1」を選びます。

p.117の～の手順でCOMポートを追加した場合には、追加した順番にSerial10000、Serial10001となります。

16 「OK」ボタンをクリックする

レジストリが書き換えられ、FAXモデムカードレジストリ設定ツールが終了します。次回起動時より、設定/変更内容が有効になります。

 **チェック!!** FAXモデムカードレジストリ設定ツールはレジストリを操作するため、使用方法を誤ると重大な障害が発生する可能性があります。使用に際しては、十分注意してください。またレジストリのバックアップをとっておくことをお勧めします。

8 ATAカードを使用する場合

ATAカードを使用する場合、ATAカードのドライブ文字が「C」に割り当てられている場合があり、アプリケーションの起動などができなくなることがあります。このような場合には、次の手順で「Atdisk」のスタートアップの種類を「ブート」から「システム」に変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き「デバイス」アイコンをダブルクリックする

2 デバイスの一覧から「Atdisk」を選択し「スタートアップ」をクリックする

3 スタートアップの種類を「システム」に変更して、「OK」ボタンをクリックする

4 「Atdiskデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか?」のメッセージが表示されますが、「はい」ボタンをクリックする

5 「閉じる」ボタンをクリックする

6 「コントロールパネル」を閉じる

7 本機を再起動する
再起動後、変更した設定が有効になります。

9 ワイヤレス通信機能のセットアップ(VA70J、VA65Jを除く)

この手順は、ワイヤレスモデルにのみ必要な手順です。
次の手順でセットアップを行います。

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」をダブルクリックする

2 「追加ボタン」をクリックする

3 「新しいモデムのインストール」で、「モデムを一覧から選択する
ので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

4 「ディスク使用」ボタンをクリックする

5 「フロッピーディスクからインストール」画面で「C: ¥NT40 ¥PHS」
と入力し、「OK」ボタンをクリックする

6 「NEC PIAFS64K Wireless(DCXB)」を選択し、「次へ」ボタンを
クリックする

7 「選択したポート」を選択する

8 使用する「通信ポート」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

9 画面の指示に従ってセットアップを行う

10 本機を再起動する

10 ネットワークのインストール

この手順は、LAN内蔵モデルにのみ必要な手順です。
次の手順でネットワークのインストールを行います。

すでにLANドライバがインストールされている場合は以下の設定は不要です。

10-1 Windows NT 4.0のセットアップ中にインストールする場合

- 1 「ネットワークに参加する」「ネットワークに接続」を選択して「次へ」をクリックする
- 2 「10-3 ネットワークアダプタのインストール」へ進む

10-2 Windows NT 4.0のセットアップ終了後にインストールする場合

 **チェック!!** CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルでは、Windows NT 4.0上でCD-ROMドライブを使用できる環境が必要です。

- 1 「コントロールパネル」を開き「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
- 2 「Windows NTネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 3 「ネットワークセットアップウィザード」画面で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「10-3 ネットワークアダプタのインストール」へ進む

10-3 ネットワークアダプタのインストール

- 1 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリックする
- 2 「ネットワークアダプタの選択」画面で「ディスク使用」ボタンをクリックする

- 3 「フロッピーディスクの挿入」画面が表示されるので、「アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 4 キーボードから次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする
A: ¥E100B
- 5 「OEM オプションの選択」画面が表示されるので、リストから「Intel(R) PRO Adapter」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
- 6 ネットワークアダプタの検索画面に「Intel(R) PRO Adapter」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 ネットワークアダプタのセットアップを行う
 - ・ネットワークプロトコルの選択
 - ・ネットワークサービスの選択
 - ・ネットワークの設定の確認
 - ・ネットワークに必要なファイルのコピー
 - ・ネットワークバインドの調整
 - ・ネットワークまたはドメインの参加

 **チェック!!** ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから「CD-ROMドライブ名 : ¥i386」を入力して、「続行」ボタンをクリックしてください。

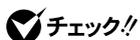
- 8 Windows NT 4.0セットアップ終了後、サービスパックをインストールした後にネットワークをインストールした場合は、Windows NT 4.0を再起動する前に再度サービスパックをインストールする

 **参照** サービスパックのインストール 「1-3 Window NT 4.0アップデートサービス Service Pack 6aの利用」(p.102)

これで、ネットワークをインストールする手順が終了しました。これ以降は、画面の指示に従って設定を行ってください。

11 スーパーディスクドライブのセットアップ(VA70J、VA65Jのみ)

この手順は、スーパーディスクドライブを内蔵しているモデルでスーパーディスクドライブを3モード対応にする場合にも必要な手順です。



チェック!

- ・内蔵、または別売のスーパーディスクドライブで、1.2MB(512バイト / セクタ、1024バイト / セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップする必要があります。720KB / 1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。
- ・1.2MB(1024バイト / セクタ)はPC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト / セクタ)の事です。専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト / セクタ(NEC)」と表示されます。
- ・スーパーディスク 3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティのセットアップではWindows NT 4.0をインストールしたドライブをC、CD-ROMドライブをEとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。

スーパーディスク 3モード対応ドライバのセットアップ

- 1 Administrator権限のあるユーザ名とパスワードでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「コントロールパネル」を開き「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックする
- 4 「追加」ボタンをクリックする
- 5 「ドライバのインストール」画面で、「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6 「フロッピーディスクからインストール」の画面で、「配布ファイルのコピー元」に「C: ¥NT40 ¥LS120DRV」を指定して「OK」ボタンをクリックする

- 7 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 8 「Windows NTセットアップ」画面で、「C:¥NT40¥LS120DRV」と指定して「続行」ボタンをクリックする
- 9 「今すぐコンピュータを再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする

専用フォーマットユーティリティのセットアップ

- 1 Administrator権限のあるユーザ名とパスワードでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」に「C:¥NT40¥MKELS120¥SETUP.EXE」と指定して、「OK」ボタンをクリックする
- 4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

スーパーディスク 3モード対応ドライバのアンインストール

- 1 Administrator権限のあるユーザ名とパスワードでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「コントロールパネル」を開き「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックする
- 4 「Panasonic SuperDisk」をクリックする
- 5 「削除」ボタンをクリックする
- 6 「はい」ボタンをクリックする
- 7 「OK」ボタンをクリックする

- 8 「コントロールパネル」の「デバイス」アイコンをダブルクリックする
- 9 「デバイス一覧」から「mkefpd」をクリックする
- 10 「スタートアップ」ボタンをクリックする
- 11 「スタートアップの種類」で「システム」が選択されているので、「無効」をクリックする
- 12 「OK」ボタンをクリックする
- 13 「mkefpdデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリックする
- 14 「閉じる」をクリックする
- 15 本機を再起動する

専用フォーマットユーティリティのアンインストール

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「SuperDisk フォーマットユーティリティ」 「Uninstall」をクリックする
- 2 画面に表示されるメッセージに従ってアンインストールを行う
- 3 本機を再起動する

 **チェック!!** 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」および「専用フォーマットユーティリティ」をセットアップした場合、次の媒体は、必ず「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットしてください。Windows NT 4.0のエクスプローラでのフォーマット、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットはできません。

- ・720KB/1.2MB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

チェック!! 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」をセットアップしていない場合、次の媒体は、通常通りWindows NT 4.0のエクプローラでのフォーマットや、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットができます。

- ・720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

専用フォーマットユーティリティの起動

チェック!! 「専用フォーマットユーティリティ」は、起動時に、スーパーディスクドライブにセットされている媒体を判別して、フォーマット可能な容量を表示します。そのため、「専用フォーマットユーティリティ」を起動する前に、フォーマットを行う媒体をスーパーディスクドライブにセットしておく必要があります。また、「専用フォーマットユーティリティ」起動後に媒体を入れ替えた場合は、「専用フォーマットユーティリティ」を一度終了してから再起動する必要があります。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「SuperDiskフォーマットユーティリティ」 「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリックする

専用フォーマットユーティリティについての注意

「専用フォーマットユーティリティ」で、媒体を1.2MBでフォーマットする場合、次の項目を選択してください。

「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」

「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」

一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットすると、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。

「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」がセットアップされている場合、1.2MBフォーマットのフロッピーディスクに対して、コマンドプロンプトからchkdskコマンドを実行することはできません。誤って実行した場合、フロッピーディスクがRAW表示となりますが、フォーマットされていないわけではありません。フロッピーディスクの内容を確認する場合は、エクプローラなどをご利用ください。

ここではCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」に、「フロッピーディスクドライブ」を「スーパーディスクドライブ」に読み替えてください。

Windows 2000をセットアップする手順

本機で別売のWindows 2000を利用するためには、次の手順でWindows 2000をセットアップする必要があります。

1. パソコン本体の準備をする
2. Windows 2000をセットアップする
3. 周辺機器の設定を行う

 **チェック!** 「NEC PC セットアップガイド for Windows® 2000」は必要ありません。

1. パソコン本体の準備をする

- ・BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してください。
- ・別売の周辺機器はすべて取り外してください。
- ・CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをお使いの場合は、CD-ROMドライブを取り付けてください。

2. Windows 2000 Professionalをセットアップする

- ・「アプリケーションCD-ROM」の¥WIN2KディレクトリにWindows 2000の補足事項を記述したREADME.TXTがあります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・本機にWindows 2000をセットアップするときは、別売の「Microsoft Windows 2000 日本語版」のオンライン版『Microsoft Windows 2000ファーストステップガイド』をご覧ください。セットアップを行うようにしてください。
- ・Windows 2000をセットアップする前に、BIOSセットアップメニューの「省電力セットアップ」で次の設定を行ってください。

自動ハイバネーション : 使用しない

スリープ種別 : サスペンド

上記の設定を行わないと、本機の起動時にハイバネーション関連のエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されても動作上問題ありません。

- チェック!!** ・「Windows 2000 の紹介」ウィンドウが一番前に表示されている場合は、タイトルバーの ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。
- ・CD-ROMドライブに「Windows 2000 CD-ROM」をセットした後、自動的に「Windows 2000 CD-ROM」の画面が表示されることがあります。画面が表示された場合は、 ボタンをクリックして画面を終了し、セットアップを続けてください。

Windows 2000のセットアップ

本機にWindows 2000を新規に組み込む場合について説明します。ここで詳しく解説されていない手順については、別売の「Microsoft Windows 2000 日本語版」のオンライン版『Microsoft Windows 2000ファーストステップガイド』をご覧くださいのうえ、セットアップを行うようにしてください。

- 1 本機の電源を入れ、CD-ROMドライブに「Windows 2000 CD-ROM Disc1」をセットする
- 2 「Press any key to boot from CD」と表示されたら【Enter】を押す
- 3 「セットアップ:」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
- 4 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
- 5 ライセンス契約画面が表示されたら、内容を確認し、同意する場合は【F8】を押す
「PageDown」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップできません。
- 6 キーボードの種類を選択する画面が表示されたら、「106 日本語キーボード」を選択する
- 7 「106 Japanese Keyboard(Including USB)・よろしいですか? (Y/N)」の画面が表示されたら、【Y】を押す
- 8 Windows 2000をインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
- 9 ファイルのコピー終了後、画面の指示に従って操作し、コンピュータを再起動する

10 再起動後、「セットアップウィザードの開始」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
数秒後に自動的に次の画面に進みます。

11 次の設定を行う

- ・ 地域
- ・ ソフトウェアの個人用設定
- ・ プロダクト キー
- ・ コンピュータ名とAdministratorのパスワード
- ・ 日付と時刻の設定

12 画面の指示に従ってネットワークの設定を行う

13 ファイルのコピーが終了すると「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、「完了」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

14 再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

15 コンピュータにログオンするユーザーを指定し、「次へ」ボタンをクリックする

16 「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

以上でWindows 2000のセットアップは終了です。
次に「ドライバのコピー」へ進んでください。

ドライバのコピー

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」をクリックする

2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

3 次のように入力する

ここでは、CD-ROMドライブをDドライブとして説明しています。お使いの環境に合わせて、実際のドライブ名に読み替えてください。

VA70J、VA65Jの場合

D:【Enter】

CD ¥WIN2K【Enter】

DRVCOPY1.BAT【Enter】

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

D:【Enter】

CD ¥WIN2K【Enter】

DRVCOPY2.BAT【Enter】

VA50J/BHの場合

D:【Enter】

CD ¥WIN2K【Enter】

DRVCOPY3.BAT

4 画面の指示にしたがってコピーする

5 コピーが終了したら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出す

以上で、ドライブのコピーは終了です。

3. 周辺機器の設定を行う

Windows 2000のセットアップ後、周辺機器の設定を行います。お使いのモデルにあわせて、必要な部分をご覧ください。

周辺機器の設定は、必ず記載されている順に行ってください。

1. Windows 2000環境設定プログラムの実行
2. NX PADドライバのセットアップ
3. 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ
4. 内蔵LANドライバのセットアップ
5. 3モードFDドライバのセットアップ
6. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

7. 赤外線通信機能のセットアップ
8. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
9. ワイヤレス通信機能のセットアップ
10. ワンタッチスタートボタンのセットアップ

1.Windows 2000環境設定プログラムの実行

Windows 2000をご使用になる場合、まず最初に「Windows 2000環境設定プログラム」を適用してください。「Windows 2000環境設定プログラム」(SETENVX.EXE)では、Windows 2000上での環境設定を行います。

以下の手順でインストールを行います。



チェック!!

SETENVX.EXEを実行する場合は、Administrator権限のあるユーザで実行してください。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」をクリックする
- 3** コマンドプロンプトから次のように入力する
D:【Enter】
CD ¥WIN2K¥SETENVX【Enter】
SETENVX.EXE【Enter】
- 4** プログラム開始のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
- 5** プログラム終了後、終了のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
- 6** 本機を再起動する

以上で「Windows 2000環境設定プログラムの実行」は終了です。
次の「NXPADドライバのセットアップ」へ進んでください。

2. NX PADドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 使用中のアプリケーションをすべて終了する
- 3 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、一覧に表示されている「標準PS/2ポートマウス」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 9 「参照」ボタンをクリックする
- 10 「ファイルの場所」に「C:¥WIN2K¥SLIDEPAD」のフォルダを指定する
- 11 「Apfiltr.inf」を選択してから「開く」ボタンをクリックする
- 12 「OK」ボタンをクリックする
- 13 「NX PAD」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「次へ」ボタンをクリックする
必要なファイルが本機にコピーされます。
- 15 「完了」ボタンをクリックする

16 「閉じる」ボタンをクリックする
「システム設定の変更」ダイアログボックスが表示されます。

17 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

以上で「NX PADドライバのセットアップ」は終了です。
次の「内蔵FAXボード対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

3. 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。
内蔵FAXモデムボードを利用するには、次の手順でドライバをセットアップします。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

- 1** 「Administrator」でログインする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 4** 「その他のデバイス」の次のデバイスをダブルクリックする
 - ・ モデム / LAN同時搭載のモデルの場合
「PCIシリアルポート」
 - ・ LAN非搭載(モデムのみ)のモデルの場合
「PCIシンプル通信コントローラ」「PCIシリアルポートのプロパティ」または「PCIシンプル通信コントローラのプロパティ」が起動します。
- 5** 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする

- 6 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製造元のファイルのコピー元」欄に以下のように入力して「OK」ボタンをクリックする
 - ・モデム / LAN同時搭載のモデルの場合
C:¥WIN2K¥XCMODEM
 - ・LAN非搭載(モデムのみ)のモデルの場合
C:¥WIN2K¥LTMODEM
- 10 ドライバファイルの検索画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
- 12 「デバイスドライバのアップグレード ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 13 「Xircom MPC1+ Modem 56 WinGlobalのプロパティ」または、「LT Win Modemのプロパティ」画面で、「閉じる」ボタンをクリックする
- 14 本機を再起動する

LAN非搭載(モデムのみ)のモデルをお使いの場合は、以上でドライバのセットアップは終了です。モデム / LAN同時搭載のモデルをお使いの場合は、引き続き以下の操作を行ってください。
- 15 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」をクリックする

16 コマンドプロンプトから次のように入力する

```
C:【Enter】  
CD ¥WIN2K¥XCMODEM【Enter】  
XIRCID【Enter】
```

17 しばらくして、次のプロンプトが表示されたら、コマンドプロンプトを終了する

```
C: ¥WIN2K¥XCMODEM>Cselect /00  
C: ¥WIN2K ¥XCMODEM >
```

18 本機を再起動する

VA70J、VA65Jの場合

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 4 「その他のデバイス」の「PCIシンプル通信コントローラ」をダブルクリックする
「PCIシンプル通信コントローラのプロパティ」が起動します。
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 6 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製造元のファイルのコピー元」欄に、「C : ¥W I N 2 K ¥ LTMODEM」と入力して「OK」ボタンをクリックする
- 10 ドライバファイルの検索画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
- 12 「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 13 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRBA)のプロパティ」画面で、「閉じる」ボタンをクリックする
- 14 本機を再起動する

VA50J/BHの場合

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 4 「その他のデバイス」の「PCI Device」をダブルクリックする
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 6 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製造元のファイルのコピー元」欄に、「C : ¥ W I N 2 K ¥ R W M O D E M 」と入力して「OK」ボタンをクリックする
- 10 ドライバファイルの検索画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 12 「Conexant SoftK56 Modemのプロパティ」の画面で、「閉じる」ボタンをクリックする
- 13 本機を再起動する

以上で「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」は終了です。次の「内蔵LANドライバのセットアップ」へ進んでください。

4. 内蔵LANドライバのセットアップ

この手順は、LAN内蔵モデルにのみ必要な手順です。内蔵LANを利用するには、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 4 次のいずれかの表示されている方をダブルクリックする
 - ・「ネットワークアダプタ」の「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)」
 - ・「その他のデバイス」の「イーサネットコントローラ」

- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 6 「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
- 8 「場所を指定」のみを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「C: ¥WIN2K ¥E100B」と入力して「OK」ボタンをクリックする
- 10 「ハードウェアデバイスのドライバファイル検索が終了しました」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 12 「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 13 「閉じる」ボタンをクリックする
- 14 「デバイスマネージャ」を閉じる
- 15 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックする
- 16 「コントロールパネル」を閉じ、本機を再起動する

以上で、「内蔵LANドライバのセットアップ」は終了です。
次の「3モードFDドライバのセットアップ」へ進んでください。

5. 3モードFDドライバのセットアップ

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 3 「フロッピーディスクコントローラ」の「標準フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックする
- 4 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 5 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「場所を指定」のみを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、「製造元のファイルのコピー元」に「D: ¥WIN2K¥3MODE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 9 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、「別のドライバを1つインストールする」にチェックをつけて「次へ」ボタンをクリックする
- 10 リストの一覧から次のものを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
NEC PC98-NX 3-mode Floppy controller(XXXXX)
XXXXXはドライバタイプです。
次のものを選択してください。

VA70J、VA65Jの場合
Type G

上記以外のモデルの場合
Type J

- 11 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 12 「閉じる」ボタンをクリックする
- 13 本機を再起動する
- 14 再起動後、「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックする
- 15 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 16 「フロッピーディスクドライブ」の「フロッピーディスクドライブ」をダブルクリックする
- 17 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 18 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 19 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 20 「場所を指定」のみを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 21 「製造元のファイルのコピー元」に「D: ¥WIN2K¥3MODE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 22 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、「別のドライバを1つインストールする」をチェックして「次へ」ボタンをクリックする
- 23 「検出されたドライバファイル」のリストの中から、「NEC PC98-NX 3-mode floppy disk drive」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

24 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

25 「閉じる」ボタンをクリックする

26 再起動をうながすメッセージが表示されたら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

以上で「3モードFDドライバのセットアップ」は終了です。
次の「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

6. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

- 1** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2** 「名前」欄に「C: ¥WIN2K ¥MOBILITY ¥SETUP」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 3** ATI Windows2000ドライバセットアップが起動し、「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 製品ライセンス契約が表示されますので、記述内容に同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
ドライバのコピーがはじまります。

 **チェック!!** 同意しない場合はドライバのセットアップはできません。

- 5** 「セットアップの完了」画面が表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

・ Silicon Motion Control Panelのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「名前」欄に「C:¥WIN2K¥SM721¥SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 プログラムアイコンを追加するフォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「完了」ボタンをクリックする
- 5 本機を再起動する

VA70J、VA65Jの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 3 「その他のデバイス」の「ビデオ コントローラ(VGA互換)」をダブルクリックする
- 4 「ドライバの再インストール」ボタンをクリックする
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C:¥WIN2K¥SAVAGEMX」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 9 「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーがはじまります。

- 10 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 11 「完了」ボタンをクリックする
- 12 「閉じる」ボタンをクリックする
- 13 再起動をうながすメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

VA50J/BHの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 3 「その他のデバイス」の「ビデオ コントローラ(VGA互換)」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックする
「ビデオ コントローラ(VGA互換)のプロパティ」の画面が表示されます。
- 4 「ドライバの再インストール」ボタンをクリックする
「デバイスドライバのアップグレード ウィザード」が表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 ハードウェアの種類から「ディスプレイ アダプタ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 9 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C: ¥WIN2K ¥SM721」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

- 10 「Silicon Motion Lynx3DM」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 13 「完了」ボタンをクリックする
- 14 「閉じる」ボタンをクリックする
- 15 「デバイスマネージャ」の画面と「システムのプロパティ」の画面を閉じる

・ Silicon Motion Control Panelのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 「名前」欄に「C:\WIN2K\SM721\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 プログラムアイコンを追加するフォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「完了」ボタンをクリックする
- 5 本機を再起動する

以上で「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」は終了です。
次の「赤外線通信機能のセットアップ」に進んでください。

7. 赤外線通信機能のセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45H、VA50J/BHの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 3 「赤外線デバイス」の「内蔵赤外線デバイス」をダブルクリックする

 **チェック!** ・デバイスマネージャで赤外線デバイスが表示されていない場合は、BIOSセットアップメニューで「赤外線ポート(IR Serial Port)」が「自動(Auto)」に設定されているか確認してください。

・ワイヤレスモデル / 内蔵指紋センサモデル(VA50J/BHを除く)で赤外線通信機能を使用する場合は、「赤外線ポート切り替え(IR Port Switch)」を「IR」に設定する必要があります。

- 4 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 5 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C:WIN2K¥IRSMCNX」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 9 「現在よりさらに、適切なドライバが検出されました」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

10 「閉じる」ボタンをクリックする

11 再起動をうながすメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

VA70J、VA65Jの場合

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする

3 「赤外線デバイス」の「内蔵赤外線デバイス」をダブルクリックする
プロパティが表示されます。

 **チェック!!** デバイスマネージャで赤外線デバイスが表示されていない場合は、BIOSセットアップメニューで「赤外線ポート (IR Serial Port)」が正しく「自動 (Auto)」に設定されているか確認してください。

4 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする

5 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

6 「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

7 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

8 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C:\WIN2K¥\IRNSCNX」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

9 「現在よりさらに、適切なドライバが検出されました」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

- 10 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 11 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 12 「ドライバ」タブのタイトルが「NECPC98-NXFast InfraredPortのプロパティ」になっていることを確認し、「削除」ボタンをクリックする
- 13 「デバイス削除の確認」で「OK」ボタンをクリックする
- 14 再起動をうながすメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 15 再起動後、「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。

以上で「赤外線通信機能のセットアップ」は終了です。
次の「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

8. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hの場合

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 4 「その他のデバイス」の「マルチメディアオーディオコントローラ」をダブルクリックする
「マルチメディアオーディオコントローラのプロパティ」の画面が表示されます。

- 5 「ドライバの再インストール」ボタンをクリックする
- 6 「デバイスドライバのアップグレード ウィザード」が起動するので、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「場所を指定」のみを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C:¥WIN2K¥YMF743」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 10 「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
- 12 ファイルの上書きの確認画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 13 「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 14 「YAMAHA AC-XG Audio Deviceのプロパティ」の画面で、「閉じる」ボタンをクリックする
- 15 再起動をうながされた場合は、「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

VA70J、VA65Jの場合

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 使用中のアプリケーションをすべて終了する
- 3 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
デバイスマネージャが起動します。
- 5 「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」をダブルクリックし、「ESS Maestro2E PCI AudioDrive(WDM)」をダブルクリックする
ESS Maestro2E PCI AudioDrive (WDM) のプロパティが起動します。
- 6 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 10 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C: ¥WIN2K¥MAESTRO2」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 11 「モデル」の一覧より、下記を選択して「次へ」ボタンをクリックする
ESS Maestro2E PCI AudioDrive(WDM)
- 12 「ドライバの更新警告」画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 13 「デバイスドライバのインストールの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
ファイルがコピーされます。

- 15 ファイルの上書きの確認画面が表示された場合には、「はい」ボタンをクリックする
- 16 「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 17 「ESS Maestro2E PCI AudioDrive(WDM)のプロパティ」画面で、「閉じる」ボタンをクリックする
- 18 再起動をうながされた場合は、「はい」ボタンをクリックする
うながされない場合は「スタート」「シャットダウン」をクリックし、「再起動」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。
本機が再起動します。

VA50J/BHの場合

- 1 「Administrator」でログインする
- 2 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」欄に「C: ¥WIN2K¥EV1938 ¥EV1938 .BAT」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 5 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 6 「その他のデバイス」の「マルチメディアオーディオコントローラ」をダブルクリックする
「マルチメディアオーディオコントローラのプロパティ」の画面が表示されます。
- 7 「全般」タブをクリックし、「ドライバの再インストール」ボタンをクリックする

- 8 「デバイスドライバのアップグレード ウィザード」が起動するので、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「製造元のファイルのコピー元」欄に「C:¥WIN2K¥EV1938」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 12 「次へ」ボタンをクリックする
- 13 「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
- 14 「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
- 15 「Creative SB AudioPCI(WDM)のプロパティ」の画面で、「閉じる」ボタンをクリックする
- 16 再起動をうながされた場合は、「はい」ボタンをクリックする
うながされなかった場合は、「スタート」ボタン 「シャットダウン」
をクリックし、「再起動」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

以上で「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」は終了です。
次の「ワイヤレス通信機能ドライバのセットアップ」へ進んでください。

9. ワイヤレス通信機能ドライバのセットアップ(VA70J、VA65Jを除く)

この手順は、ワイヤレスモデルにのみ必要な手順です。
ワイヤレス通信機能を利用するには、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする
- 3 「その他のデバイス」に「NEC PIAFS64K DCXB」がある場合は選択し、「削除」アイコンをクリックする
「NEC PIAFS64K DCXB」がない場合は、手順5に進んでください。
- 4 「デバイス削除の確認」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「デバイスマネージャ」画面を閉じる
- 6 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機の電源を切る
- 8 本機の電源を入れる
- 9 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「NEC PIAFS64K DCXB」と表示されていることを確認し、検索方法で「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「製造元のファイルのコピー元」に「C:¥Win2K¥PHS」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 13 「デバイス」「ドライバのある場所」として次のデバイスおよび場所が検出されるので、「次へ」ボタンをクリックする
デバイス :NEC PIAFS64K DCXB
場所 :c:¥win2k¥phs¥mdmnpf2.inf
- 14 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

15 「NEC PIAFS64K Wireless(DCXB)このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。」というメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

16 本機を再起動する

以上で「ワイヤレス通信機能のセットアップ」は終了です。
次の「ワンタッチスタートボタンのセットアップ」へ進んでください。

10. ワンタッチスタートボタンのセットアップ(VA70J、VA65Jを除く)

次の手順でドライバをセットアップします。

チェック!! 「ワンタッチスタートボタンの設定」がインストールされていない場合は、「ワンタッチスタートボタンの設定の削除」の手順は必要ありません。「フィルタドライバのインストール」に進んでください。

ワンタッチスタートボタンの設定の削除

- 1 インジケータ領域(タスクトレイ)の「ワンタッチスタートボタンの設定」アイコンの上で右クリックし、「終了」をクリックする
- 2 「スタートボタン」「プログラム」「スタートアップ」の「ワンタッチスタートボタンの設定」の上で右クリックし、「削除」をクリックする
- 3 警告が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする

以上で「スタートアップ」の中にある「ワンタッチスタートボタンの設定」がすべて削除されました。

フィルタドライバのインストール

- 1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする

- 4 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「場所を指定」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「参照」ボタンをクリックし、「C: ¥WIN2K¥MFK2K」フォルダを選択して「開く」ボタンをクリックする
- 8 「OK」ボタンをクリックする
- 9 「別のドライバを1つインストールする」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「NEC Note Keyboard with One-touch start buttons」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示された場合、「はい」ボタンを選択する
- 12 「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 13 本機を再起動する

HIDドライバのインストール

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 2 「次へ」ボタンをクリックする
- 3 「デバイスの追加/トラブルシューティング」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「新しいデバイスの追加」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「いいえ、一覧からハードウェアを選択します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「システムデバイス」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「ディスク使用」ボタンをクリックし、「参照」ボタンをクリックする
- 8 「C: ¥WIN2K¥MFK2K」フォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックする
- 9 「OK」ボタンをクリックする
- 10 「NEC One-touch start buttons」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 13 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
デバイスのセットアップが自動的に行われます。
- 14 再起動をうながすメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックする

APSドライバのインストール

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 2 「次へ」ボタンをクリックする
- 3 「デバイスの追加/トラブルシューティング」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「新しいハードウェアの検出」が自動的に行われた後、「ハードウェアデバイスの選択」の画面になったら、「新しいデバイスを追加」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「新しいハードウェアを検索しますか?」と表示されたら、「いいえ、一覧からハードウェアを選択します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「システムデバイス」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「ディスク使用」をクリックし、「参照」ボタンをクリックする
- 8 「C:¥WIN2K¥MFK2K」フォルダを選択し、「開く」ボタンをクリックする
- 9 「OK」ボタンをクリックする
- 10 「NEC One-touch start buttons(APS)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「次へ」ボタンをクリックする
ドライバのコピーが始まります。
- 12 「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合、「はい」ボタンをクリックする
- 13 「ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了」画面になったら、「完了」ボタンをクリックする
デバイスのセットアップが自動的に行われるので、しばらくお待ちください。
- 14 再起動するかを尋ねるメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックする

ユーティリティのインストール

- 1 「C:¥WIN2K¥MFK2K」フォルダにある「Install.exe」をコマンドプロンプトから実行する

ファイルシステムがNTFSの場合

チェック!! ファイルシステムがNTFS以外の場合は以下の手順は必要ありません。「本機の再起動」に進んでください。

- 1 「C:¥WinNT¥NECMFK.INI」のプロパティを開く
- 2 「セキュリティ」タブをクリックする
- 3 「追加」ボタンをクリックし、「名前」から「Everyone」を選択し、「追加」ボタンをクリックする
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「Everyone」を選択し、「フルコントロール」を選択する
- 6 「OK」ボタンをクリックする

本機の再起動

- 1 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリックする
- 2 「再起動」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 管理者権限を持つアカウントでログオンする
再起動を要求された場合は、もう一度再起動してください。

以上でインストールは終了です。

P A R T

5

トラブル解決 Q&A

トラブルの解決方法を具体的に説明しています。

はじめて電源を入れたら

セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to RUN SETUP」というメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照▶ BIOSセットアップメニュー 『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

2 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

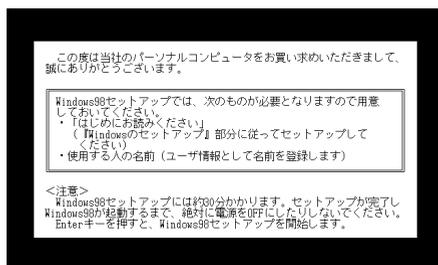
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して次の画面が表示されます。



『はじめにお読みください』をご覧ください。セットアップを続けてください。

セットアップ画面が表示されずに、メッセージが表示された

機種によっては、はじめて電源を入れたときに「Invalid HIBERNATION xxxx/file...RUN HDPREPEZ...」で始まるメッセージが表示されますが、異常ではありません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。

『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

 →  5秒以上たってから、もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください

名前を入力する画面が表示されたとき

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「名前を登録する」からセットアップを続けてください。

自動的にスキャンディスクがはじまったとき

スキャンディスクは、ハードディスクの表面やハードディスクに保存されているデータに障害がないか調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。

スキャンディスクで異常が発見されなかったときは、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見されたときは、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。

 **参照** 再セットアップをするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

 →  本当にフリーズしていますか?

Windows 98のセットアップは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても、数分～十数分画面が止まったようになることがあります。あわてて電源を切らないように注意してください。

セットアップ時に登録した名前やふりがなを変更したい

セットアップ時に「Windows 98 へようこそ」で登録した名前やふりがなは、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「Windows 98 へようこそ」のウィンドウで名前やふりがなを入力します。

 参照 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

電源を入れたが

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された

Windows 98またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないか確認してください

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

システムの入ったディスクをセットしなおすか、またはディスクを取り出して、何かキーを押してください。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、PC98-NXシリーズ用のWindows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていなかったとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。

問題が発見されたときは画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていないときも、再セットアップしてください。

参照 再セットアップをするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

「Non-system disk or disk error」と表示された

 →  フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。
ディスクを取り出して何かキーを押すか、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

カーソル以外、画面に何も表示されない

 →  フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

システムの入ったフロッピーディスクやスーパーディスクをセットし直して何かキーを押すか、またはフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってから電源を入れ直してください。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

「Operating System not found」と表示された

 →  フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているか確認してください

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

本機で使用できないフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとこのようなメッセージが表示されます。フロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

メモ

フロッピーディスクやスーパーディスクから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが入ったディスクを使用してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、FDISKコマンドを実行し、Cドライブの状態を調べてください。

参照 Windows 98起動ディスクから本機を起動するには「Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい」(p.245)

・ Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていないとき

FDISKオプションの「4. 領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」がついているか確認してください。ついていないときは、Cドライブがアクティブでない状態であることを表しています。

FDISKオプションの「2. アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

・ 「領域」のところに何も表示されていない。または、Cドライブの「システム」のところが「FAT32」または「FAT16」以外になっているとき

ハードディスクがフォーマットされていません。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。再セットアップしてください。

参照 再セットアップをするときは『活用ガイド 再セットアップ編』

ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした



フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやスーパーディスクによっては、このマニュアルに書かれていないメッセージが表示されたり、ピーツというエラー音がしたりします。起動時に「何かおかしいな」と思ったら、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないか確認してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされているとき

システムの入ったフロッピーディスクやスーパーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクやスーパーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。

フロッピーディスクやスーパーディスクがセットされていないとき、または上記の手段でも問題が解決しなかったとき

メッセージや症状を書きとめて、『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

ディスプレイに何も表示されない

電源ランプ()が点灯していないとき

 →  ACアダプタは正しく接続されていますか？ バッテリーパックは取り付けられていますか？ バッテリーは充電されていますか？

『はじめにお読みください』をご覧になり、バッテリーパックやACアダプタを接続しなおしてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

 **チェック!!** ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

電源ランプ()が点灯しているとき

 →  ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか？

以下の方法で、ディスプレイの輝度を調整してください。

- ・VA50J/BHの場合
【Fn】を押したまま【F7】または【F8】を押す
- ・その他の機種の場合
【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押す

☹️➡️😊 外付けのディスプレイを接続していませんか？

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニタ」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」をご覧ください。

☹️➡️😊 液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか？

強制的に本機の電源を切った後、SafeモードでWindowsを起動して、解像度を設定し直してください。

参照 強制的に電源を切る方法 「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」
(p.175)

チェック!! これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧ください。ご購入元、NEC フィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

Windows 98が起動しない

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない可能性があります。次の方法でBIOSセットアップメニューの設定をご購入時の状態に戻して、もう一度電源を入れ直してください。

チェック!! ・本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。
・BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードは解除されません。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Default)」を選び、【Enter】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

5 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認ダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された

 →  「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されているか確認してください

「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。

「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角 / 全角】を押してください。次に表示される画面で「OK」ボタンをクリックすると、Windows 98がSafeモードで起動します。

 **チェック!!** ・画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。Safeモードを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、Safeモードで起動してください。Safeモードで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。

・問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。再セットアップを行ってください。

 **参照**▶ 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

Windowsが不正にシャットダウンした後は、自動的にスキャンディスクが起動し、ハードディスクに異常がないかチェックが行われます。ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

 **チェック!!** 再セットアップの必要があるとき

- ・スキャンディスクでシステムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

メモ

正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態(サスペンド)にした内容が何らかの原因で失われてしまうと、このメッセージが表示されます。

参照▶ 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

☹️ → 😊 設定したパスワードを正しく入力しましたか？

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。

☹️ → 😊 キャップスロックキーランプ (A) またはニューメリックロックキーランプ (1) が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプが点灯しているとき、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプが点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してキャップスロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、ニューメリックロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックの解除のしかた

- ・VA50J/BHの場合
【Fn】+【F12】を押す
- ・その他のモデルの場合
【Num Lock】を押す

パスワードを忘れてしまった

Windows 98のパスワードを忘れたとき

Windows 98のパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windows 98を再セットアップしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。

メモ

本機の購入時の設定では、「Windowsログイン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったとき

スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いの皆さまへ～』をご覧の上、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、ハードディスクに保存したデータを見られなくなります。



チェック!!

お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意してください。

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない

- ☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ(Ⓐ)とスクロールロックキーランプ(Ⓜ)が交互に点灯していませんか?

スリープ状態から復帰(レジューム)したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ(Ⓐ)とスクロールロックキーランプ(Ⓜ)が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

- ✔️ **チェック!!** スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

Windows 98の起動直前に、「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」と表示された

- ☹️➡️😊 メモリの取り付け/取り外しやCDドライブの圧縮/圧縮解除/CDドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしませんでしたか?

メモリの取り付け/取り外しやCDドライブの圧縮/圧縮解除/CDドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしたときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

参照▶ 休止状態の設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

- ☹️➡️😊 休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合で「BIOSセットアップメニュー」で自動ハイバネーションを設定したとき、Windows 98起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

- ☹️➡️😊 休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

-  **チェック!!** OSをWindows NT 4.0 / Windows 2000にのせかえた場合は、毎回起動時にメッセージが表示されますが、問題ありません。このメッセージを表示させないようにするには、次の「Windows NT 4.0 / Windows 2000でこのメッセージを表示させない方法」の手順を行って下さい。

Windows NT 4.0/Windows 2000でこのメッセージを表示させない方法

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押します。BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3 「省電力セットアップ(Power Management Setup)」を選び、【Enter】を押します。
省電力セットアップの画面が表示されます。
- 4 「自動ハイバネーション(Auto Save To File)」を「使用しない(Disabled)」にします。
- 5 【Esc】を押して【F10】を押します。
セットアップ確認ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

電源を入れたら「MACAFEEによる保護」または「VirusScan DATファイルのアップデート!」というメッセージが表示される

ウイルス検出用のウイルスデータファイルが古くなっている場合、最新のウイルスを検出するために、ウイルスデータの更新をうながすメッセージが表示されます。

インターネットに接続できる場合は、「アップデート」または「更新」ボタンをクリックすると自動的に最新のDATファイルをダウンロードし、アップデートすることができます。

インターネットに接続できない場合は「キャンセル」ボタンもしくは「OK」ボタンをクリックしてください。

バッテリーを使っていたら

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない

☹️ ➡️ 😊 バッテリーがフル充電されていませんか？

バッテリーがフル充電されている場合はバッテリー充電ランプが消灯しています。既にバッテリーがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことがあります。

☹️ ➡️ 😊 バッテリーパックが接触不良を起こしていませんか？

バッテリーパックが接触不良のときには、バッテリー充電ランプが点滅します。バッテリーパックを取り外し、もう一度取り付け直してください。

インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない

☹️ ➡️ 😊 バッテリーパックは取り付けられていますか？

バッテリーパックが取り付けられていないと電源アイコン  は表示されません。

☹️ ➡️ 😊 バッテリーパックから本機を駆動していませんか？

バッテリーパックから本機を駆動している場合は  が表示されません。

☹️ ➡️ 😊 「コントロールパネル」の「電源の管理」で、「アイコンをタスクバーに常に表示する」はオンになっていますか？

1 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」ウインドウが表示されます。

2 「詳細」タブの「アイコンをタスクバーに常に表示する」が (オフ) になっているときは、クリックして (オン) にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

「電源の管理のプロパティ」ウインドウが閉じ、タスクバーに電源アイコンが表示されます

フル充電したのに、バッテリー充電ランプ()が点灯する

バッテリーは少しずつ自然放電しているため、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプ()が点滅する

 →  バッテリーが正しく取り付けられていますか？

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリーパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリーリフレッシュ」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので別売のバッテリーパックと交換してください。

電源を切ろうとしたが

電源を切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2 「電源を切れる状態にする」をクリックして (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプ () が消えます。

メモ

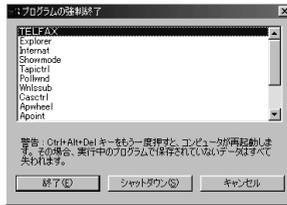
- ・作業中に誤って電源スイッチを操作してしまったときは、「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示されることがあります。このようなときは「キャンセル」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。「OK」ボタンをクリックすると、しばらくして自動的に電源が切れます。
- ・「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合は、電源スイッチを操作したときにスリープ状態になりますので、ご注意ください。

画面は表示されているが正しい手順で電源が切れないとき

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションがフリーズ(ハングアップ)するなどの異常を起こしていることが考えられます。

次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、本機の電源を切ってください。

- 1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押してください。
「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



- 2 右側に「応答なし」と表示されているアプリケーションがあるときはアプリケーション名をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。



この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

- 3 もう一度、「正しい電源の切り方」に従って電源を切ってください。

この方法でも電源を切ることができないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従って本機を強制的に終了させてください。



強制的に電源を切る方法

電源スイッチを約4秒以上操作し続ける



チェック!! 「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

画面が表示されていないとき

アプリケーションによっては、スタンバイ状態(サスペンド)または、休止状態(ハイバネーション)にすると、電源を切ることができなくなることがあります。このようなときには、いったん電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。



画面がおかしい

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる



「コントロールパネル」の「電源の管理」で「モニタの電源を切る」を設定していませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」をご覧ください。スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい

次の操作をするとデスクトップ画面はWindows 95に近いものになります。

- 1 マイコンピュータを開き「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブの「Windows デスクトップのアップデート」で「従来のWindowsスタイル」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

MS-DOSモードを終了してWindows 98に戻りたい

EXITと入力して【Enter】を押します。

Windows 98が起動します。

MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバーが起動した

Windows 98のスクリーンセーバーを設定している場合、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトで別売のマウス操作のみ行っていると、Windows 98のスクリーンセーバーが起動することがあります。

次の手順で、スクリーンセーバーが動作しないように設定してください。

1 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

MS-DOSプロンプトが、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に変わります。

2 【Alt】を押したまま【スペース】を押します。

MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。

3 メニューから「プロパティ」を選択します。

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。

4 「その他」タブをクリックし、「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使う」の (オン) をクリックして (オフ) にします。

5 「OK」ボタンをクリックします。

6 【Alt】を押したまま【Enter】を押します。

ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

別売のディスプレイを使っていたら

ディスプレイの省電力機能を設定できない



ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。

☹️ → 😊 ディスプレイは省電力機能に対応していますか？

省電力機能は、パソコン本体やパソコンに接続されている周辺機器の電源を詳細に設定し、電力消費を削減することができる機能です。なお、省電力機能に対応していないディスプレイでは、この機能は設定できません。ディスプレイが省電力機能に対応しているか、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

☹️ → 😊 「コントロールパネル」の「画面」でディスプレイの種類が表示されていますか？

1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。

2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。

「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。

3 「省電力モニタ」をクリックして (オン) にします。

参照 ディスプレイの種類を指定するときには、『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」

☹️ → 😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください

ディスプレイの種類が表示されているときは、実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってください。

「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される



「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウにディスプレイの種類は表示されていますか？

- 1 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。
「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。

参照▶ ディスプレイの種類を指定するには 『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作で解像度を選ぶことができるようになります。

- 1 ディスプレイを接続し、Windows 98を起動します。
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- 2 「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。
- 4 「オプション」の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」チェックボックスをクリックして (オフ)にします。
- 5 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

- 7 「再起動する」を (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
Windowsが再起動します。
- 8 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 9 「設定」タブをクリックします。
- 10 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして「変更」ボタン
をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウインドウが表示されます。
- 11 「次へ」ボタンをクリックします。
- 12 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールする
ドライバを選択する」を (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックし
ます。
- 13 「すべてのハードウェアを表示」を (オン) にします。



画面はモデルによって多少異なります

- 14 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの
種類を選びます。

ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 ▶ ディスプレイの製造元とモデル ディスプレイ添付のマニュアル

15 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。

16 「完了」ボタンをクリックします。

17 「閉じる」ボタンをクリックします。

18 「OK」ボタンをクリックします。

19 Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックしてください。

再起動後、高解像度を選ぶことができるようになります。

参照▶ 解像度の変更をするときには『活用ガイド ハードウェア編』PART 1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

NXパッドを操作しても

NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い

キーボードのキーを押すと反応する

☹️➡️😊 スクロール領域で操作していませんか？

出荷時の設定では、NXパッドのスクロール機能が有効になっています。パッドのスクロール領域(右端、下)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができません。スクロール機能のオン/オフは「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「ジェスチャー」タブで設定できます。

☹️➡️😊 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

☹️➡️😊 NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

☹️➡️😊 NXパッドを使用しない設定になっていませんか？

BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ(Advanced CMOS Setup)」のNXパッド(Internal Mouse)を「使用する(Enable)」に設定してください。

参照➡️ NXパッドの設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

☹️➡️😊 「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されていませんか？

次の手順でボタンの設定を変更することができます。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ボタン」タブの「ボタン設定」で「左ボタン」「右ボタン」「左右ボタン」の設定を使いやすいように設定してください。

必ずどれか1つに「クリック」を設定してください。

3 「OK」ボタンをクリックします。

反応が鈍い

☹️ → 😊 ポインタの速度が遅くなっていませんか？

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブで「速度」を調整してください。

キーボードのキーを押しても反応しない

☹️ → 😊 マウスポインタが砂時計の形 ⌚ に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.175)

NXパッドが動作しない

誤動作防止のため、キー入力時にはNXパッドからの操作が無効になるように設定されています。

この設定を解除するには、次の手順で設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「タッピング」タブをクリックし、「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」の (オン) をクリックして (オフ) にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

文字を入力しようとしたら

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

☹️ → 😊 マウスポインタが砂時計の形 ⌚ に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」(p.175)

別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある

☹️ → 😊 キーボードの設定は行いましたか？

設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。

チェック!! この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えなくなる場合があります。

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の **+** をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。

3 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックします。

5 「現在使用しているデバイスよりさらに適したデバイスを検索する(推奨)」の **○** (オフ) をクリックして **⊙** (オン) にし、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「検索場所の指定」の (オフ) をクリックして (オン) にし、キーボードのマニュアルなどについているフォルダを指定します。

7 「次へ」ボタンをクリックします。

これ以降は画面の指示に従って設定してください。

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

☹️ ➡️ 😊 キャップスロックキーランプ () が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプ () が点灯している状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

☹️ ➡️ 😊 ニューメリックロックキーランプ () が点灯していませんか？

ニューメリックロックキーランプ () が点灯しているときには、VA50J/BHの場合は、キー上段に青で表示されている数字や記号が入力され、その他のモデルの場合は、キー前面に印字されている数字や記号が入力されます。ニューメリックロックを解除すると、通常の文字が入力される状態になります。

ニューメリックロックの解除のしかた

- ・VA50J/BHの場合
【Fn】+【F12】を押す
- ・上記以外のモデルの場合
【Num Lock】を押す

☹️ ➡️ 😊 入力したいモードになっていますか？

日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角】を押します。

日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押します。

☹️ ➡️ 😊 別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き)を使っていませんか？

別売の98配列USBキーボード(バスパワーハブ付き)  PK-KB011) を使っているときは、内蔵キーボードは使用できません。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システムツール」 の「文字コード表」をクリックします。

「文字コード表」ウィンドウが表示されます。



- 2 文字コード表の文字をダブルクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。

メモ

貼り付け先でフォントの再指定が必要なものもあります。

参照 文字コード表を使うとき 文字コード表のヘルプ

MS-DOS プロンプトのとき、バックスラッシュ(\)が入力できない

\ の代わりに ¥ を入力して代用することができます。

例) 英語モード >\cd

日本語モード .. >¥cd

バックスラッシュ(\)は、MS-DOS プロンプトが日本語モードの場合はキーを押しても入力できません。入力したい場合は次の手順で一度英語モードにしてください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。

「MS-DOS プロンプト」の画面が表示されます。

2 「US」と入力して【Enter】を押します。

これで英語モードになります。日本語モードにもどす場合は、手順2で「JP」と入力してから【Enter】を押してください。

ファイルを保存しようとしたら

ハードディスクに保存できない

☹️ → 😊 ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.214)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない

☹️ → 😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか？

ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 ライトプロテクトを解除するには「読み込みはできるが、書き込みができない」(p.211)

☹️ → 😊 ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

MOドライブなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。本機では、市販のMOドライブなどを接続することができます。

長いファイル名をつけられない。表示できない

☹️ → 😊 MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトを使っていませんか？

Windows 98で、Windows 98またはWindows 95用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

インターネット / パソコン通信しようとしたら

接続できない

☹️ → 😊 URLが正しく入力されていますか？

入力したアドレスが間違っていると、「ページが見つかりません」などのメッセージが表示されて接続できません。

URL(http://... ではじまるアドレス)には、大文字、小文字の区別があります。すべて半角で入力し、コロン(:)、スラッシュ(/)、ピリオド(.)、チルダ(~)などが抜けないようにしてください。

☹️ → 😊 モデムがきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧ください、セッティングしてください。

☹️ → 😊 接続は正しくできていますか？

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

☹️ → 😊 電話回線の設定は正しいですか？

ご利用の電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線)かをご確認ください。電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

また、ご利用の電話回線が外線発信の必要な場合は、外線発信番号が設定されているかをご確認ください。パソコンの回線の設定を「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで確認し、ご利用の電話回線に合わせます。

電話回線の設定は、「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックして表示される「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで行ってください。



ご使用になる地域の市外局番が「0」ではじまる場合、最初の「0」を除いた番号を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します。

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。

☹️ ➡️ 😊 ダイヤルアップの設定は正しいですか？

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの画面で、正しく設定できているかを確認してください。

☹️ ➡️ 😊 Internet Explorerの接続設定は正しいですか？

1 コントロールパネルの「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。

インターネットのプロパティウインドウが表示されます。

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルアップの設定」で「通常の接続でダイヤルする」が (オン) になっているか確認します。

☹️ ➡️ 😊 電話番号は正しいですか？

接続先の電話番号をもう一度確認してください。

☹️ ➡️ 😊 回線が混雑していませんか？

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

☹️ ➡️ 😊 電話を使っていませんか？

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

 →  キャッチホンサービスを受けていませんか？

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

 →  電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか？

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

 →  FAXモデムは動作していますか？

デバイス マネージャの画面を表示して(p.225) FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 98のヘルプを参照して、「×」や「！」がついていない状態にしてください。

 →  親機の通信圏外でダイヤルしようとしていませんか？(ワイヤレスモデルの場合)

別売の親機との有効通信圏は最大約100m以内です。有効通信圏内でダイヤルしなおしてください。

BIOSセットアップメニューで設定すると、圏内 / 圏外の状況をランプで表示させることができます。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』の「表示ランプ」をご覧ください。

 →  親機の設定が間違っていないですか？(ワイヤレスモデルの場合)

購入時の状態では、別売の親機のダイヤル方法は「パルス(20pps)」に設定されています。ご利用の電話回線のダイヤル方法が「トーン(プッシュ信号)」や「パルス(10pps)」の場合、別売の親機の設定を変更する必要があります。

 **参照** 別売の親機に添付のマニュアル

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されているか確認してください。」と表示される

☹️➡️😊 ポート (COM値) は接続されていますか？

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。
通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

モデムが外付けのとき

モデムの電源と接続を確認してください。

参照 ➡️ 周辺機器のマニュアル

☹️➡️😊 他にも電話回線を使うアプリケーションを起動していませんか？

他にも電話回線を使うアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了してからインターネットに接続してください。

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

☹️➡️😊 通信相手との通信条件は正しいですか？

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 本機の近くにテレビやラジオなどありませんか？

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。

本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。

Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき
メールの送信形式をテキスト形式にしてください。

ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

- 1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。
- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 4 「ニュース送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

これで送信形式が変更されました。



メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして (オン)にします。



半角のカタカナや特殊記号を使っていませんか？

半角のカタカナや特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)は使わないでください。



件名(サブジェクト)に漢字やひらがなを使っていませんか？

件名(サブジェクト)には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでください。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にしてください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない



メールに添付したファイルサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか？

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

メモ

圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

 →  Outlook Expressで電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信する設定を行っていますか？

相手もOutlook Expressを使っている場合、次の手順を行うと、サイズが制限されているプロバイダのサーバーに、制限を超えるサイズの電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信できます。分割して送信された電子メールは受信先で結合され、1つの電子メールになります。

- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューの「アカウント」をクリックします。
- 2 「メール」タブまたは「ニュース」タブをクリックし、アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細設定」タブをクリックし、「次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する」をチェックしてオンにします。
- 4 プロバイダが許可している最大のサイズを入力します。
メールのサイズの上限については、加入しているプロバイダにご確認ください。

 →  Outlook Expressでサーバーのタイムアウトまでの時間が短く設定されていませんか？

- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューの「アカウント」をクリックします。
- 2 アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「詳細設定」タブで「サーバーのタイムアウト」のつまみを右にドラッグして、時間を調節します。

「発信音がありません。」と表示された

 →  電話回線は正しく接続されていますか？

モジュラーケーブルが抜けていたり浮いていたりしませんか？
電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

 →  内線 / 外線の区別がある電話回線を使っていませんか？

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない、または通常の発信音(「ツー」という長い音)以外の音が聞こえる場合は、次の手順に従って設定してください。

- 1 デスクトップ上の「マイコンピュータ」にある「ダイヤルアップネットワーク」を開きます。
- 2 使用する接続先のアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「全般」タブの「接続の方法」の「設定」ボタンをクリックします。
「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「接続」タブの「接続オプション」の「トーンを待ってからダイヤルする」の (オン) をクリックして (オフ) にします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
- 7 アクセスポイントのアイコンをダブルクリックします。
- 8 「ダイヤルのプロパティ」をクリックして、「外線発信番号」を入力します。
たとえば、0発信が必要な場合は、「外線発信番号」の「市内通話」と「市外通話」にそれぞれ「0」を入力します。
- 9 「OK」ボタンをクリックし、「キャンセル」ボタンをクリックします。

アプリケーションによっては独自に設定を保存している場合があります。このようなアプリケーションをお使いの場合は、各アプリケーションのマニュアルに従って設定を変更してください。

 **チェック!!** ワイヤレスモデルで別売の親機をご利用の場合、構内変換機によっては外線発信番号のダイヤル間隔に対応できない場合があります。その場合は、外線発信番号が必要のない電話回線をご利用ください。

 →  加入電話回線以外の回線と接続していませんか？

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。また、本機を破損するおそれがあります。

「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された

 →  電話回線は正しく接続されていますか？

モジュージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか？電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

 →  トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。次の手順に従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。

電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

- 1 コントロールパネルを開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ダイヤル方法」欄で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

「回線はビジーです。」と表示された

 →  電話回線が混み合っていないですか？

しばらく待ってからもう一度接続し直してください。

 →  トーンまたはパルスの設定は正しいですか？

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。上記の「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。p.197の「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン/パルス、外線発信番号(“0”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期/非同期設定に誤りがあります」と表示された

☹️➡️😊 電話回線の設定は正しいですか？

次の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

1 コントロールパネルを開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確認して設定してください。



ご使用になる地域の市外局番が“0”ではじまる場合、最初の“0”を除いた番号を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します。

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。

2 「OK」ボタンをクリックします。

☹️➡️😊 ISDN回線の同期/非同期の設定は正しいですか？

デスクトップ上の「マイコンピュータ」にある「ダイヤルアップネットワーク」を開き、アクセスポイントのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックすると、「接続の方法」欄にドライバが表示されます。

一般に、「SYNC」という部分があれば同期、「ASYN」という部分があれば非同期です。また「128」という部分があれば128kbps接続です。これらがプロバイダが公開しているアクセスポイントの設定と同じか確認し、間違っているときは設定しなおしてください。

ダイヤラでダイヤルできない

「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「ダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がしなかったり、音が小さいときは次の手順で調整してください。

VA50J/BHの場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して、音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」「小」「中」「大」と変化します。

上記以外のモデルの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。



・これを右にドラッグすると大きな音になります。
 ・「オフ」になっているとモデムからの音がなくなります。

(画面はモデルによって多少異なります)

3 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。



チェック!!

- ・モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音がしないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接続できない」(p.190)をご覧ください、対処してください。
- ・上記の方法でも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客様へ～』をご覧くださいの上、モデムの製造元、NECフィールドिंगの各支店、営業所などにご相談ください。

「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするこのメッセージが表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン作業」をクリックしてください。

「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、Internet Explorerやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、オンラインサポートをクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

 →  接続は正しくできていますか？

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

 →  発信命令の送り方や条件は正しいですか？

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確認してください。

モ ATコマンド一覧を見る方法

モデムが内蔵されているモデルでは、次のようにしてATコマンド一覧を参照することができます。

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 2 「名前」欄に「C:¥windows¥SCmodem¥Atc¥Html¥Atc000.HTM」と入力します。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。



ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「LAN (ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

☹️ → 😊 接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

☹️ → 😊 設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

共有ドライブやフォルダが使えない

 →  「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか？

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。

 →  お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか？

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

 →  共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか？

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りと書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

メモ

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。

赤外線通信しようとしたら

赤外線通信できない

☹️ → 😊 本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？
お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。

☹️ → 😊 デバイスを正しく設定していますか？
『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧くださいになり正しい設定を行ってください。

☹️ → 😊 デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いていませんか？

「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークが付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

Windowsのヘルプまたは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。

☹️ → 😊 BIOSの設定は正しいですか？

VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hのワイヤレスモデル及び内蔵指紋センサモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定し、「赤外線ポート切り替え(IR Port Switch)」を「IR」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

それ以外のモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。

Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された(VA50J/BHのみ)

 →  デバイスを正しく設定していますか？

BIOSセットアップメニューで、赤外線ポートを使用しない設定にしている場合は、このようなメッセージが表示されます。

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり、赤外線通信機能を利用するための準備を行ってください。



光デジタル出力機能を使っていたら

(VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hを除く)

デジタル出力からの音が鳴らない

☹️ → 😊 オーディオ機器と正しく接続されていますか？

本機の光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。

☹️ → 😊 オーディオ機器のサンプリングレートが、本機のサンプリングレートに対応していますか？

本機の光デジタル出力のサンプリングレートは48kHzです。接続先のオーディオ機器が48kHzのサンプリングレート入力に対応しているか確認してください。



印刷しようとしたら

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

☹️➡️😊 プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

☹️➡️😊 接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「プリンタ」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。

☹️➡️😊 プリンタが用紙切れ、トナーやインク切れになってませんか？

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

☹️➡️😊 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、プリンタから印刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 「スタート」ボタン 「設定」 「プリンタ」をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。

これで設定が終了しました。

☹️➡️😊 プリンタが印刷可能な状態（オンライン）になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

 →  プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

 →  プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。

 →  使用したいプリンタ用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

 **参照** プリンタドライバのセットアップ プリンタのマニュアル

 →  プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

 **参照** プリンタドライバの設定 プリンタのマニュアル

 →  デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューで、「パラレルポート(Parallel Port)」を「使用しない(Disabled)」設定にしている場合は、設定を解除してください。

また、セキュリティの設定をしている場合は、設定を解除してください。

 **参照** デバイスの設定 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」

印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された

 →  使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか？

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィンドウが表示されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
- 2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。
- 3 「プリンタ」ウィンドウを閉じます。
これで設定が終了しました。

フロッピーディスクやスーパーディスク を使っていたら

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない

☹️ → 😊 フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか？

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

🔍 **チェック!!** 他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

✖️ **モ**

ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、フォーマットされていないことが考えられます。ディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

読み込みはできるが、書き込みができない

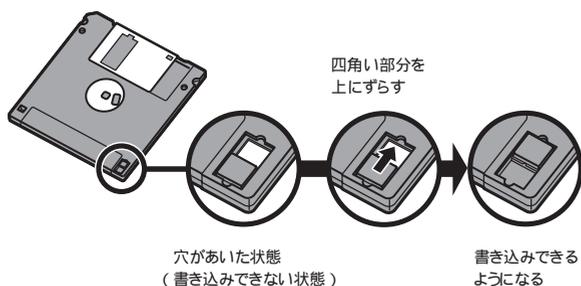
☹️ → 😊 ディスクがライトプロテクトされていませんか？

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

メモ

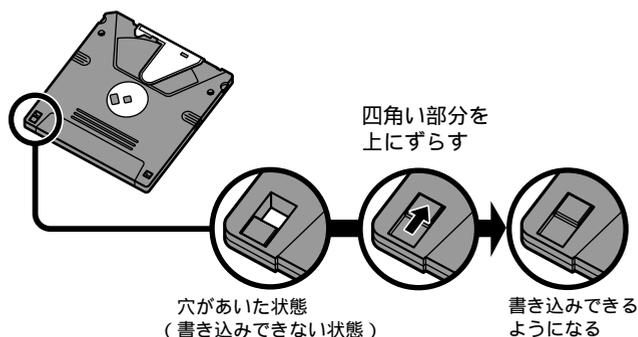
フロッピーディスクやスーパーディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能「ライトプロテクト機能」があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるほうにずらしてください。

フロッピーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

スーパーディスクの場合



2DDのフロッピーディスクに書き込みができない

2DDのフロッピーディスクを720Kバイトでフォーマットした場合、いったんフロッピーディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。

フォーマット後にフロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとすると、フォーマットが正常に終了していても、エラーが発生する場合があります。

なお、クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。

- ✔ **チェック!!** 必要なディスクをフォーマットしてしまわないよう、十分注意してください。大切なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

ディスクコピーやフォーマットができない

- ☹️ ➡️ 😊 セットしたディスクの容量を確認してください

Windows 98では、1.2Mバイトや120Mバイトでフォーマットされたディスクをディスクコピーしたり、フロッピーディスクを1.2Mバイトの容量でフォーマットしたりすることはできません。

次の手順でセットしたフロッピーディスクの容量を確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 「マイコンピュータ」ウィンドウの「3.5インチフロッピーディスク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「全般」タブでフロッピーディスクの容量を確認します。

なお、スーパーディスクドライブですでに1.2Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスクを1.44Mバイトにフォーマットし直そうとすると、エラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、「スタート」ボタン「プログラム」から「MS-DOSプロンプト」を起動して、次のように入力してください。

```
FORMAT A: /F:1.44【Enter】
```

スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない (VA70J、VA65Jのみ)

 ⇒  パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。

電源が入っているのにディスクを取り出せないときは、『活用ガイド ハードウェア編』をご覧ください、スーパーディスクを取り出してください。



ハードディスクを使っていたら

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

ハードディスクを増設する

「ディスク クリーンアップ」でハードディスクの必要のないファイルを削除する

パソコンを使っていくと、「ごみ箱」に捨てたファイルやアプリケーションが作成する一時作業用ファイル、インターネットの一時保存ファイル、使わなくなったアプリケーションや、どのプログラムからも呼び出されていない「DLLファイル」などが蓄積され、ハードディスクが容量不足になることがあります。そのようなときは、「ディスク クリーンアップ」を使うと必要のないファイルを簡単に削除することができ、ハードディスクの容量を増やすことができます。

ディスク クリーンアップについては、Windows 98の「ヘルプ」で「ディスク クリーンアップ」をキーワードにして検索してください。

参照▶ 「ヘルプ」について 「ヘルプ」

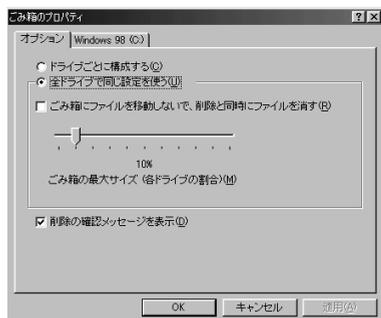
「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

ごみ箱を空にしても、アイコンが消えない場合は、「ごみ箱」アイコンをダブルクリックして、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックします。

「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウインドウで行います。



- チェック!!** ゴミ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはゴミ箱に保管されずに消えてしまいます。

TEMPフォルダの中身を削除する

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、Windowsフォルダの中のTEMPフォルダに作られます。

メモ

アプリケーションを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。

インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する

インターネットエクスプローラで、既に表示したページを後で参照する必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き領域を増やすことができます。

- 1 「インターネットエクスプローラ」を起動します。
- 2 「ツール」メニュー 「インターネットオプション」を選びます。

3 「全般」タブの「ファイルの削除」ボタンをクリックします。



ここをクリックします。

4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き領域を増やすことができます。

参照 ▶ ドライブスペース 『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』

インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照 ▶ ・添付アプリケーションの削除 「PART2 添付アプリケーションの追加と削除」
・別売のアプリケーションの削除 アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除した「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするため、このような現象が起こります。スキャンディスクを実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか削除してください。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される

Windows 98がインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われます。今後この警告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。

このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい



FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成してください

2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域にするには、FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成する必要があります。

参照▶ FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「内蔵ハードディスク」

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない

 →  FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください

FAT32ファイルシステムを適用すると、一つの領域に2Gバイト以上の領域確保ができません。

参照▶ FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「内蔵ハードディスク」

「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に変換できない

MS-DOSモード時に組み込まれる不要なドライバや常駐プログラムを削除および無効にします。

Windowsが起動するドライブ内の「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC.BAT」を「メモ帳」などで開き、無効にするドライバの行の先頭に、半角文字で次のように入力して保存します。

```
REM <無効にするドライバ名>
```

FAT32を利用したい

「ドライブコンバータ (FAT32)」やカスタム再セットアップでFAT32を適用することができます。

参照▶ FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」



CD-ROM/CD-R/CD-RWを使っていたら

トレイを出し入れできない

☹️➡️😊 パソコンの電源は、入っていますか？

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのにディスクトレイが出てこないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」をご覧ください、ディスクを強制的に出してください。

ディスクをセットしても自動起動しない

☹️➡️😊 ディスクは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。CD-ROMのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windows 98のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」から「CD-ROMドライブ」または「CD-R/RWドライブ」アイコンをダブルクリックして起動してください。

☹️➡️😊 自動起動が設定されていますか？

次の手順で確認します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「CD-ROM」の左の \oplus をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。

- 4 「挿入の自動通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、 (オン) にします。



ここが (オン) になっていないと自動起動ができません。

メモ

自動起動の設定を解除する場合は、「挿入の自動通知」のチェックボックスを (オフ) にします。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されます。

- 6 「はい」ボタンをクリックして本機を再起動します。

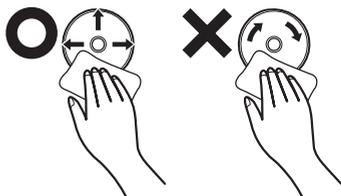
データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

☹️ → 😊 ディスクは正しくセットされていますか？

ディスクの表裏を確認して、ディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。

☹️ → 😊 ディスクが汚れていませんか？

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



☹️➡️😊 ディスクに傷が付いていませんか？

傷がついているディスクは使えないことがあります。



添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

☹️➡️😊 このパソコンに何らかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

☹️➡️😊 このパソコンで使えるディスクかどうか確認してください

このパソコンで使えるディスクを使ってください。

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 98を使うときは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

☹️➡️😊 音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

☹️➡️😊 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。

動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

☹️➡️😊 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。



アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、再生がよりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフにしてください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音楽を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフに設定してください。

CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、次のようなときにはドライブ番号が変更されます。

- ・別売のCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを増設したとき
- ・CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブの設定を変更したときなど

メモ

特に指定しなければ、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのドライブ番号は、最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます。

例：最後のハードディスクがDドライブのとき、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブはEドライブ

ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の左のをクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。

- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」をクリックして表示された一覧の中から選びます。



終了ドライブ文字も自動的に変更されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンをクリックします。
- 6 Windows 98の再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使いたい

出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使うことはできません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使うためには、設定が必要です。PART6の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」(p.250)をご覧ください。

CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら

CD-ROMを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したディスクをセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった(CD-R/RWモデルのみ)

☹️➡️😊 書き込み中にスクリーンセーバーが起動したり、本機がスタンバイ状態になったりしませんでしたか？

Easy CD Creatorなどのトラックアットワンス方式やディスクアットワンス方式のCD-R書き込みソフトを使って、CD-R/CD-RWにデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していると書き込みエラーになることがあります。

CD-R/CD-RWに書き込みを行う場合には、以下の操作をおすすめします。

- ・ スクリーンセーバーを起動させないようにする
- ・ スタンバイ状態に移行させないようにする
- ・ 他のアプリケーションを終了する
- ・ 常駐プログラムをオフにする

☹️➡️😊 ACアダプタを接続していますか？

CD-R/CD-RWにデータを書き込んでいるときには、バッテリーの残量がなくなるとデータの書き込みに失敗します。CD-R/CD-RWにデータを書き込むときには、かならずパソコンにACアダプタを接続してお使いください。



周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった



正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。



割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャンネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブで確認します。

☒ ☒ デバイスマネージャの表示方法

1 「コントロールパネル」を開いて「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。



参照 割り込みレベル、DMAチャンネル 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャンネル」

取り付けた周辺機器のところに赤い「x」マークや黄色い「!」マークが付いているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

☹️ → 😊 周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 周辺機器のマニュアル

トラブルをおこしたドライバを削除し、正しいドライバをインストールするときには、SafeモードでWindows 98を起動して、次の操作にしたがって設定してください。

SafeモードでWindows 98を再起動します。

- 1 本機の電源を入れて、Windows 98を起動します。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】を押し続けて、表示される画面で「3」を選び【Enter】を押します。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックします。

メモ

Safeモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順1~3を実行してください。

取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

2 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

3 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。

4 「全般」タブをクリックして「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の (オン) をクリックして (オフ) にします。

5 「OK」ボタンをクリックします。

Windows 98を再起動すると、通常モードで立ち上がります。

周辺機器を使いたいときはドライバを更新します。

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 前記の1から3の手順を行います。

2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。

メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できますことがあります。次の「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」をご覧ください。

プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」マークが表示され、周辺機器が動作しない

 →  ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか？

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい

「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」でWindows Updateを利用するとMicrosoftのサーバに接続し、最新のデバイスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。

次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。(p.225)
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 ハードウェアの左の田をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- 8 「Microsoft Windows Update」の (オフ) をクリックして (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

9 「更新されたドライバ(推奨)」の (オフ) をクリックして (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい

Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」 「システム情報」 をクリックします。

「Microsoftシステム情報」ウィンドウが表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックして「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。

「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

1 「OK」をクリックします。

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2 「C: ¥WINDOWS ¥OPTIONS ¥CABS」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

アプリケーションを使っていたら

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない

☹️ → 😊 リソースが不足していませんか？

アプリケーションを使うには、リソースが必要です。複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースの空き容量が少なくなりアプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなってしまうことがあります。起動中のアプリケーションや常駐プログラムを終了してください。また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合は、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。



リソースの空き容量は、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」「システムのプロパティ」「パフォーマンス」タブの「システムリソース」に表示されています。

起動中のアプリケーションを終了する

「リソースが足りません」というようなメッセージが表示されて、終了したいアプリケーションが選択できないときは、次の手順でアプリケーションを終了してください。

- 1 【Alt】を押しながら【Tab】を押します。
ウインドウが表示されます。
- 2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。
- 3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。
メニューが表示されます。
- 4 「閉じる」をクリックします。

これでアプリケーションを終了することができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐プログラムを終了する

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にある使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了する項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了してください。

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。

以上の操作をしても問題が解決しない場合、次の手順で常駐アプリケーションを非常駐にしてください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「スタートアップ」をクリックし、非常駐にしたい常駐アプリケーションを右クリックします。
- 2 「削除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックします。
- 5 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックします。
本機が自動的に再起動します。

これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

 →  アプリケーションは省電力機能(スタンバイ)に対応していますか?

対応していないアプリケーションを使用中にスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スタンバイ状態にしないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

 →  アプリケーションの削除をしませんでしたか?

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。

それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

アプリケーションが起動しない

 ➔  アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

複数のアプリケーションを同時に起動している場合

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときはそれらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できなくなることがあります。

参照 ➔ アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べるには アプリケーションのマニュアル

ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合

ファイルサイズの大きい壁紙を使用していると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。お使いの壁紙のファイルサイズを確認し、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

 ➔  アプリケーションは省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションを使用中にスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スタンバイ状態にしないでください。

省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

 ➔  アプリケーションの削除をしませんでしたか？

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。

それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。

参照▶ 画面の表示色を変更するには 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

アプリケーションをインストールできない

 →  アプリケーションはこのパソコンに対応していますか？

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

 →  アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールし直してください。

 →  アクティブデスクトップをWebページで表示していませんか？

アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、アプリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアクティブデスクトップの設定を変更してください。

1 デスクトップ上の何も無いところで、右クリックします。

2 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」「Webページで表示」をクリックします。

「Webページで表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。

 →  「インストール先のハードディスクがメモリ不足のためインストールできません」というようなメッセージが表示されませんでしたか？

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスクの空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

参照▶ ハードディスクの空き領域を増やすには 「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.214)

メモ

どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。

 →  Windows 98に対応していないMS-DOS用、Windows 3.1用、またはWindows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS用、Windows 3.1用、Windows 95用のアプリケーションの中にはインストールできないものがあります。各アプリケーションの製造元にご確認ください。

 →  MS-IME2000使用時にWindows 3.1用のアプリケーションを実行しようとしませんでしたか？

MS-IME2000を標準でご使用の状態ではWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止することがあります。このような場合は次のように設定してください。

 **チェック!!** ・通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

・次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために、もう一度、次の方法を行う必要があります。

メモ

次の操作を行うとWIN.INIファイルが変更されます。まず、Windowsのフォルダ(購入時の状態では、Cドライブ)にあるWIN.INIファイルのコピー(バックアップ)を取っておくことをおすすめします。

- 1 まず、クイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順6へ進んでください。
- 2 「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「Windowsファイル」タブで「ファイルの種類」の「アクセサリ」をクリックして「詳細」ボタンをクリックします。
- 4 「クイックビューア」の左についているチェックボックスをクリックして (オン) にし、「OK」ボタンをクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。
クイックビューアのセットアップが行われ、Windows 98のデスクトップの画面が表示されます。

- 6 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 7 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックし、メニューの「クイックビューア」をクリックします。
選択したアプリケーションの情報(テクニカル ファイル情報)を表示するウィンドウが開きます。
- 8 「モジュール名」の右側に表示されている文字をメモします。
ここでは仮に「ABC」とします。
- 9 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。
- 10 「名前」欄に「WIN.INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。
- 11 「検索」メニューから「検索」をクリックします。
「検索」ダイアログが開きます。
- 12 「検索する文字列」欄に「Compatibility」と入力し、「次を検索」ボタンをクリックします。
本文内の「Compatibility」が選ばれます。
- 13 「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリックします。
- 14 キーボードの【Fn】を押しながら【Home】を押します。
「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- 15 キーボードの【Enter】を押します。
新しい行が作成されます。
- 16 手順8でメモした文字(ここではABC)を入力します。
- 17 手順16で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。
手順15で作成された行に次の内容が表示されます。
ABC=0x00400000
- 18 「メモ帳」 「ファイル」メニュー 「上書き保存」をクリックします。
- 19 「メモ帳」 「ファイル」メニュー 「メモ帳の終了」をクリックします。
メモ帳が終了します。

20 「クイックビューア」の「ファイル」メニューから「クイックビューアの終了」をクリックします。

クイックビューアが終了します。

これでWindows 3.1対応アプリケーションが使用できます。

メモ

Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックした時表示されるメニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセットアップされていません。

クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

再セットアップするとき、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい

Windows 95版のアプリケーションがWindows 98でもそのまま使えるかどうかはアプリケーションによって異なります。

本機にあらかじめインストールまたは添付されているアプリケーションの場合

アプリケーションの名称に「・・・for Windows 95」や「Windows 95版」などと記載されていたり、アプリケーションの画面やヘルプに「Windows 95」と記述されていても問題なく動作します。

市販されているアプリケーションの場合

Windows 98で問題なく使用できるかどうかについては、アプリケーションの購入元にご確認ください。

MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない

MS-DOS通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」画面をフルスクリーンにして使用してください。



スタンバイ状態(サスペンド)にしよう としたら

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

- ☹️ → 😊 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?
双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。
- ☹️ → 😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください
電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。
- ☹️ → 😊 アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか?
アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら

休止状態(ハイバネーション)の処理画面が表示されずスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう

☹️ → 😊 休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」を見て設定してください。

☹️ → 😊 再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか？

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション状態)の再設定が必要です。

参照 休止状態(ハイバネーション)について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」

ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される

☹️ → 😊 ハードディスク内の空き領域が不足していませんか？

ハイバネーション設定ユーティリティでは、実装しているメモリ容量によって作成される休止状態(ハイバネーション)用のファイルの大きさが変わります。必要な連続した空き領域を確保してから休止状態(ハイバネーション)の設定を行ってください。

Windows 98の起動直前に、「Invalid HIBERNATION XXXX/
file...RUN HDPREPEZ...」と表示された

 →  メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか?

メモリの取り付け / 取り外しやCDドライブの圧縮 / 圧縮解除 / CDドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態(ハイバネーション)をもう一度設定し直してください。

参照▶ 休止状態の設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 98の場合)」

 →  休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合、Windows 98起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

 →  休止状態(ハイバネーション)のときに機器構成を変えませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続している周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻してから、もう一度電源を入れてください。

 **チェック!!** OSをWindows NT 4.0 / Windows 2000にのせかえた場合は、毎回起動時にメッセージが表示されますが、問題ありません。このメッセージを表示させないようにするには、次の「Windows NT 4.0 / Windows 2000でこのメッセージを表示させない方法」の手順を行って下さい。

Windows NT 4.0/Windows 2000でこのメッセージを表示させない方法

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3 「省電力セットアップ(Power Management Setup)」を選び、【Enter】を押します。
省電力セットアップの画面が表示されます。

- 4 「自動ハイパネーション(Auto Save To File)」を「使用しない(Disabled)」にします。
- 5 【Esc】を押して【F10】を押します。
セットアップ確認ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

☹️ → 😊 バッテリーの残量はありますか？

スタンバイ状態(サスペンド)のときにバッテリー残量がなくなると、自動的に本機が起動し、メモリに保存してあるデータをハードディスクに保存して電源が切れます(自動的にハイバネーションします)。この場合は、液晶ディスプレイを開いた状態で電源スイッチを操作すればデータが元に戻ります。

参照 ▶ バッテリーの残量を確認するには『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリー」

☹️ → 😊 アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか？

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

☹️ → 😊 パソコンがWindowsの終了処理を行っている間に次の操作を行いませんでしたか？

- ・ディスプレイのフタを閉めた
- ・スリープ状態にした
- ・電源を切った

Windowsの終了処理中にこれらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

その他

日付や時刻が正しく表示されない

☹️ → 😊 内蔵のリチウム電池は十分に充電されていますか？

本機の内蔵時計はリチウム電池で動いています。内蔵のリチウム電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機の電源を約40時間以上入れたままにしてリチウム電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。
「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。



- 3 「OK」ボタンをクリックします。
これで正しい日付と時刻が設定されました。

Windows Updateができない

☹️ → 😊 インターネットに正しく接続されていますか？

「接続できない」(p.190)をご覧ください、もう一度接続を確認してください。

☹️ → 😊 インターネットプロバイダとの契約はお済みですか？

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。



インターネットへの接続は「Windows 98へようこそ」の「インターネットに接続」をクリックすると、簡単に設定することができます。

☹️ → 😊 Windows 98ユーザー登録はお済みですか？

Windows Updateを利用するには、Windows 98ユーザー登録をしておく必要があります。

ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウインドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。



Windows 98ユーザー登録は「Windows 98へようこそ」の「いますぐ登録」をクリックしても起動することができます。

2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98API情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

用語 2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーにした期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

Windows 98起動ディスクを作成したい

Windows 98起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動できなかったときに、フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブから起動するために使うものです。

Windows 98起動ディスクは、次の手順で作成します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 2 「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブにWindows 98起動ディスク1をセットします。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。
- 3 「Start computer with CD-ROM support」が選択されていることを確認して、【Enter】を押します。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- 4 【半角 / 全角】キーを押します。
「Windows 98 起動ディスク2を挿入してください」と表示されます。
- 5 フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブから「Windows 98 起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク2」をセットします。

6 いずれかのキー【Enter】などを押します。

しばらくすると、「A: ¥ > _ 」と表示されます。

これで、Windows起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブからWindows 98起動ディスクを取り出して、本機の電源を入れ直してください。

動作状況が不安定になった



LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしませんでしたか?

LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしないでください。

Windows 98の電源管理で自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧の上、最寄りのNECフィールドイングの各支店、営業所などにご連絡ください。

また、日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウイルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウイルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウイルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先：情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部：〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコートセンターオフィス16階

IPAセキュリティセンター ウイルス対策室

電話：03-5978-7509

FAX：03-5978-7518

ホームページアドレス：<http://www.ipa.go.jp/>

「追加情報 READMEファイル」を参照したい

「スタート」ボタン 「プログラム」 「追加情報」をご覧ください。

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない

 →  ネットワークの設定はされていますか？

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用するには、ネットワークの設定が必要です。

ご使用になるネットワーク環境にあわせて、「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「クライアント」 「アダプタ」 「プロトコル」の設定を行ってください。

PART

6

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、本機をMS-DOSモードで起動することができます。

- ✓チェック!!** プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特に、PC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは、MS-DOSモードやMS-DOSプロンプトでは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSアプリケーションやMS-DOSコマンドを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

✓チェック!! 「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

MS-DOSプロンプトを起動する

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOSプロンプト」をクリックする
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!! MS-DOSモードでは、PCカードは使用できません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブを利用する

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、CD-RWドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。ここでは、CD-ROMドライブを例に説明しています。CD-R/RWモデルを使用している場合は、「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」に読み替えてください。

✓チェック!! CD-R/RWドライブは、MS-DOSモードでは、CD-ROMドライブとしてのみ使うことができます。

現在のMS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

- 2** 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

- 3** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。

- 4** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

- 5** 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

- 6** 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

- 7** 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

- 8** 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」が表示されます。

- 2** C: ¥COMMAND.COMをクリックする
プログラム名が反転表示されます。

COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。表示の

- 3** 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする
「Commandプロパティ」が表示されます。

- 4** 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が表示されます。

- 5** 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

- 6** 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」が閉じます。

- 7** 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」が閉じます。

- 8** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。

- 9** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

```
SETCD /A【Enter】
```

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

11 エクスプローラを起動していない場合は「スタート」ボタン 「プログラム」 「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する 「エクスプローラ」が表示されます。

12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

 **チェック!!** 新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて終了します。続行しますか?」



アフターケアについて

保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧の上、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PC あんしんサポートガイド』または『NEC PC あんしんサポートガイド～ビジネスでお使いのお客さまへ～』をご覧ください。

チェック!! ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。

添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM

■ パソコンの型名などは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールドイングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「正規ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録を行ってください。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)



チェック!!

- ・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡される場合は、98OFFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)まで、ご連絡のうえ必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。

ただし、「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」でご登録ください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

記載内容

本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入された店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号
98OFFICIAL PASS 登録センター係行

本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



索引

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたら

セットアップの画面が表示されない	160
セットアップ画面が表示されずに、メッセージが表示された	161
セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	161
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)	162
セットアップ時に登録した名前やふりがなを変更したい	162

電源を入れたが

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された	163
「Non-system disk or disk error」と表示された	164
カーソル以外、画面に何も表示されない	164
「Operating System not found」と表示された	164
ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした	165
ディスプレイに何も表示されない	166
Windows 98が起動しない	167
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された	168
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった	168
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される	169
パスワードを忘れてしまった	169
スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない	171
Windows 98の起動直前に、「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」と表示された	171
電源を入れたら「MACAFEEによる保護」または「VirusScan DATファイルのアップデート!」というメッセージが表示される	172

バッテリーを使っていたら

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電が始まらない	173
インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない	173
フル充電したのに、バッテリー充電ランプ(■)が点灯する	174
バッテリー充電ランプ(■)が点滅する	174

電源を切ろうとしたが

電源を切れない。強制的に電源を切りたい	175
---------------------	-----

画面がおかしい

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる	177
デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい	177
MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった	177
MS-DOSモードを終了してWindows 98に戻りたい	177

MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバーが起動した	178
別売のディスプレイを使っていたら	
ディスプレイの省電力機能を設定できない	179
「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される	180
表示できるはずの高解像度を選べない	180
NXパッドを操作しても	
NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い	183
NXパッドが動作しない	184
文字を入力しようとしたら	
キーボードのキーを押しても、何も反応しない	185
別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある	185
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	186
記号などで入力できない文字がある	187
MS-DOS プロンプトのとき、バックslash(\)が入力できない	187
ファイルを保存しようとしたら	
ハードディスクに保存できない	189
フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない	189
長いファイル名をつけられない。表示できない	189
インターネット / パソコン通信しようとしたら	
接続できない	190
「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されているか確認してください。」と表示される	193
文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する	193
ファイルを添付したメールをうまく送れない	194
「発信音がありません。」と表示された	196
「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された	197
「回線はビジーです。」と表示された	197
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された	198
「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号(“ 0 ”)の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された	198
ダイヤラでダイヤルできない	199
モデムで電話できるか確認したい	199
「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される	200
Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい	200

自動発着機能が作動しない	201
ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら	
ネットワークへの接続方法が分からない	202
ネットワークに接続できない	202
共有ドライブやフォルダが使えない	203
赤外線通信しようとしたら	
赤外線通信できない	204
IntelLisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は不正なオペレーションです。IntelLisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された(VA50J/BHのみ)	205
光デジタル出力機能を使っていたら(VA60J/WX、VA50J/WS、VA50H/WX、VA50H/WT、VA45Hを除く)	
デジタル出力からの音が鳴らない	206
印刷しようとしたら	
プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される	207
印刷しようとしたら「FAX送信」「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された	208
フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら	
「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない	210
読み込みはできるが、書き込みができない	211
2DDのフロッピーディスクに書き込みができない	212
ディスクコピーやフォーマットができない	212
スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない(VA70J、VA65Jのみ)	213
ハードディスクを使っていたら	
ハードディスクの空き領域が足りない	214
ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない	216
領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない	217
スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示されて終了してしまう	217
スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが中断される	217
2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい	217
ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない	218
「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、FAT32に変換できない	218
FAT32を利用したい	218

CD-ROM/CD-R/CD-RWを使っていたら

トレイを出し入れできない	219
ディスクをセットしても自動起動しない	219
データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする	220
再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない	221
動画の再生中に画面が消えてしまう	222
音楽CD再生中に音楽が止まってしまう	222
CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのドライブ番号を変えたい	222
MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブを使いたい	223
CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら	223
CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった(CD-R/RWモデルのみ)	224

周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった	225
プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「！」マークが表示され、周辺機器が動作しない	228
Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい	228
Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい	229
「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された	229

アプリケーションを使っていたら

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない	230
アプリケーションが起動しない	232
フルカラーにするようにというメッセージが表示された	232
アプリケーションをインストールできない	233
再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい	236
Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい	236
MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない	237

スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない	238
---------------------------	-----

休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら

休止状態(ハイバネーション)の処理画面が表示されずスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう	239
ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される	239
Windows 98の起動直前に、「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」と表示された	240

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない	242
スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた	242

その他

日付や時刻が正しく表示されない	243
Windows Updateができない	244
2000年問題について知りたい	244
Windows 98起動ディスクを作成したい	245
Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい	245
動作状況が不安定になった	246
コンピュータウイルスが検出された	246
「追加情報 READMEファイル」を参照したい	247
「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない	247

総索引

英字

- 2000年問題 244
- Acrobat Reader 26, 54, 72
- CD-R 219
- CD-ROM 219
- CD-RW 219
- CyberAccess 26, 54, 73
- CyberWarner-NX 30, 56, 73
- DirectCD 26, 52, 71
- Easy CD Creator 25, 52, 71
- FAT32 218
- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0
(with NEC Extensions)..... 35, 59, 74
- Intellisync 18, 49, 70
- Masty Data Backup 38, 62, 76
- MS-DOSプロンプト 187, 250, 251
- MS-DOSモード 250, 251
- NEC Soft MPEG1.0 24, 50, 70
- NXパッド 183
- Office 2000 Personal 16, 48, 66
- Office 2000 Professional . 17, 48, 67
- pcAnywhere 9.0 EX 37, 60, 75
- RSA SecurPC 37, 61, 76
- Safe mode 168
- Virtual CD 2 39, 63, 77
- VirusScan 33, 57, 73, 82
- Windows 2000 Professional 126
- Windows NT 4.0 92

あ行

- アフターケア 255
- アプリケーション 14, 46, 64, 230
- 一太郎10パック 18, 49, 68
- インターネットエクスプローラ18, 191, 200
- インターネット設定切替ツール 38, 62, 77
- 印刷 207
- ウイルス 33, 80, 246
- 英語モードフォント 34, 59, 74

か行

- 解像度 180
- キーボード 185
- 休止状態 239
- 強制的に電源を切る方法 176
- コンピュータウイルス 80, 246

さ行

- サスペンド 238
- 自動メール受信クーティリティ 39
- 周辺機器 225
- スタンバイ状態 238
- スーパーバイザパスワード 170
- スーパーディスク 210
- スキャンディスク 168, 217
- スリープ 242
- 赤外線通信 18, 204

た行

- トラブルチェックシート 267

な行

- 日本語入力 187
- ネットワーク 202

は行

- ハードディスク 87, 214
- ハードディスクのメンテナンス 87
- ハイバネーション 239
- パスワード 169
- バックアップ 84
- バッテリー 173
- 光デジタル出力機能 206
- プリンタ 207
- フロッピーディスク 210
- プレーヤ-NX 24, 51, 71

ま行

- 文字コード 187
- モデム 190

ら行

レジューム 242

わ行

ワンタッチスタートボタン 39

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成	
ハードウェア	
本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには、マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「MBのRAM」という表示の「」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PCカード	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
OSのバージョンと発売メーカー	
Windows 98	Windows NT(バージョン)
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

そのトラブルはどんなときに起きましたか？

パソコンを起動するたびに起きる

そのアプリケーションを起動するたびに起きる

特定の操作を行うと起きる

はじめて起きた

その他に気づいたことがあれば書いてください。



活用ガイド

ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows 98 インストール)

初版 2000年5月

NEC

P

808-875488-541-A